| 宮城に参丙天島陛下に葬稿仰付かり前日の御晩を言い殿下には起殿下と御同列にて五日午前九時五十分高局松宮 同妃 兩殿下の参内

強した、言ふなりをした。 薬部及び政府の要人等は 原・真懐黒氏が來るとの

條件附で別種類

艦種別專門委

場を考証して之を欲せざる次第でのそれに接近する事は英帝國の立に日本の海軍力が繰りに英國の立にを接近する事は英帝國の立に

をなせるのみで継ぎる處なく恐時 をなせるのみで継ぎる處なく恐時 をなせるのみで継ぎる處なく恐時 をなせるのみで継ぎる處なく恐時 をなせるのみで継ぎる處なく恐時 となせるのみで継ぎる處なく恐時 となせるのみで継ぎる處なく恐時 となせるのみで継ぎる處なく恐時 となせるのみで継ぎる處なく恐時

世しめる必要上殿重な保留係項附 せしめる必要上殿重な保留係項附 せしめる必要上殿重な保留係項附

であつてまだ其後何等抗動は開始しては今 もであつてまだ其後何等抗動は開始しただけであつてまだ其後何等抗動は開始しただけを米國館の主張の根據はワシントた米國館の主張の根據はワシント

#### 財裕綽々とし 財部全權決意を語る てラグ ビー見物に ばぬ

如何に有り難いものであったかは 整臓が起って満洲里や海拉爾が、 意識の情勢を演出したと

ルに出て参りました。常時 がの行船でジヤワからシングの行船でジヤワからシン

この「日章旗」の保護下に

さすがの海軍國イギリス

ド肚で盛りました。當時は彼のイツのエムデン號が南洋方面で

にいているのではありませんかへ一にいなって、われしては日本帝國のりまして、われしては日本帝國のりまして、われしては日本帝國ののはして、この佳面に當

ふことを深寒に感銘させられるの の生命財産が確保されてゐるとい

であります。昨年、北浦に露支の

遠く海外に發展して居りますと、が開新でないやうでありますが、

し得なかったのでありました。

わが同胞の發展するところ。世

ない。ところが、この日本國家、國際ところが、この日本國家、國際ところが、この日本國家、國際といふので、その正確な方式などが一般國民の職種に「日の丸」と申しります。職群に「日の丸」と申します。職群に「日の丸」と申します。職群に「日の丸」と申します。職群に「日の丸」と申します。職群に「日の丸」と申します。職群に「日の丸」と申します。

はれます。

して置くことが脱繋であらうと思いの元の御族」の概念を変数に感銘 の丸の御族」の概念を変数に感銘

るやうに、國旗といふもの人

この関旗の保護の下に、われく

日本内地では「毎日」などとい

四流の管國軍艦艇が職へつてゐるの葉を掘って敗く熱帯の京風に、加手

ありますで

の疑義が思って紛争の難目となるの疑義が思って紛争の関係間の問題などになりますと、管際問題として色々なりますと、管際問題として色々なりますと、

丸の

開

の巡洋戦四隻が、新嘉坡港湾を組ったのであります。そのとき日本

ち御殿の稼削は過去から將来に、

と、日出より日後まで揺場するこれから風劇は戦戦と間をあけぬこれから風劇は戦戦と間をあけぬこ

しかも日に日に新

しいのであり

たしか伊吹、利根などの四隻であして頑張ってるたのでありました

時代に膨腰して、その色を變へねす。白くしたり赤くしたり、時代

なるやうにすること、事所はどうと、二本交叉するときは入の字に

ばならぬやうなものではないので

#### 常率紫米六館内外の提議に関し會一米全種の提案中に含まる1日本館 交渉はこ 職職係者及びロンドン言論外に於ては未ださしたる反響の潜起を見 日本朝野の緊張せる空類及び各新 京衆電に依り深くられ来り會議方 京東電に依り深くられ来り會議方 贈くに足らぬ事である、我等の言率六割程度を唱へてゐるのは、米闡側の提案に於て日本への割金権は今朝左の如く語つた れから

日本に勝味は充分ある した勝目を持つてゐる事は之まで一するも極めて明瞭とされてゐる。で議論に於ては我全權が最も卓越一の日英米三國間の折衝の經過に欲 た態度を示してゐる、對 とされてゐる

見せラグビー 動策を被し いいでする。 られてある。

之で同黨の公認總數は二百九十八 民政公認候補 一百九十八名 八日第十囘十四名を發表

新規時直 しなどといふこれが、カスタワを館職を発行ない情勢である要するにハバロフスタ協定の版本的存職

\$6

るべく結局富祉からの筋道に立歸

に式音器に入るより外はで、 能引き酸に入るより外はで、 に対音器に入るより外はで、

ることになるであらう

酪支會議の

第二區 网络 第三區 网络 第三區 河波荒水

項改訂

針

國民政府にて決定す

化宣傳をなさざる事を書

【奉天特電九日報】 『孝正式會議は、総局近ぐモスクワに開館されは、総局近ぐモスクワに開館されたは、総局近ぐモスクワに開館された以下で高林の張作相に談會議に於ける吉林峰代表と 日本ので高林の張作相

協定に對する

政黨名併記有効 内務省審議會で決定

温の風出を行つた。

【金澤九日發電】懷田秋歐氏は石一計畫せる吉林より同江に至る所謂。 徳田秋聲氏辭退 「奉天特電九日發』吉林省政府の をの解釋であつた 「兩鐵數設設協議

吉同密穆の

**抑留居留民の相互釋放は既に効** 第一乃至第三項の東鐵原狀回復

ないます。 ないでは、 の方針で改訂をなす方針に決したと質問したる上同協約を係場を左を質問したる上同協約を係場を左を質問したる上同協約を係場を左を質問したる上同協約を係場を左 

相當困難と思はる。余は事務引繼ぎ後南京に行き来支腦案解決を鹽る頼りである。現も角本件の解決は、

ても今更英氏を措いて他に適任者しれぞれなりになつてゐる現狀であるを語るものである、東北側とし「既慶更を挑議して韓國側に一蹴された。

▲高崎弓彦男(貴族院議員) 九日 本高崎弓彦男(貴族院議員) 九日 本天部凋二氏(陸軍省練理局主計 世界で平氏(拓務技師) 同上 本天部凋二氏(陸軍省練理局主計

貞彦氏(魯大公司顧問)

内務省の

領事裁判標撤廢は米國政府が領事裁判標撤廢は米國政府が

主席全権は 結局莫德惠氏か 交渉の歸結も哈府協定の程度

電子、特電九日数 本月十日召集 であった東北四省の電政大館 であった東北四省の電政大館 で変別を希望す

**汽内省御用邁** 

銚子醬油株式會社

能子

(舊胚十五日)以後でなければ開

漸進的に實施を必要ご認める

駐支新米公使の聲明

の治廢方針

としてゐるか越だ疑問とせざるを得してゐるか越だ疑問とせざるを得して我們就想 とせざるを得い、一例を攀ぐれば正式會觀地

主張を答れない器に行かなくなっ

京した。入京と同時に先づ新聞記録先を見せて翌十七日午後九時入

省の立場」を設き、蔵々効果を牧機館に非常な馬力をかけて「東北

石氏を訪ふて協定十箇條の

めつ」ある。

たのである。

一、露支協定大制に闘する各項 地目は次の如きものである 製作として民に殿い殿脈に 立る草綬を作成して居る、其内容 地目は次の如きものである

問題(乙)外蒙問題

は未だその全瀬委員すら任命して 立日からモスクワに於て露支倉職 が、支那職

長張我エバ州一日級に語つた所 何等の回答も興へない、露支協定 大綱中に規定した細目協定館識の 大綱中に規定した細目協定館識の 大綱中に規定した細目協定館識の 大綱中に規定した細目協定館識の 決定したとの事である。

しい對露立場

南京政府も遂に譲步

是れに関係が出来たからである。此の間に機が出来たからである。此の問題の解決は外交内政略方面に重大な影響があるので、莫氏が如何を表した。就門とを地いて入京するかに配面が非常介石供をモドク刺れた。 正正に入事

善の方策を購究しやうと答へた相は雪はなかつたが莫氏の高飛車には雪はなかったが莫氏の高飛車に

莫徳恵氏の熱心な釋明に

**冰科義平氏(白河艀船會社專務)** 大氏(芝罘電話局長) 同上 大氏(會社員) 同上 大氏(會社員) 同上 海氏(會社員) 同上 海氏(衛兵中尉) 同上 海氏(神服商) 同上 が叛漁代(神服商) 同上 でで、「一」

**動場卵の保有者** 査では縣民の内 績を擧げた、大 が八割といふ成 べき成績である 某縣衞生課の調 が退いて悲しむ 變な成績である



とする意思があったが、郷氏はへとする意思があったが、郷氏はへ

しその代りとし

た所五日該委員會の承職を得たと を受員會に李氏の任命方を要求し を受員會に李氏の任命方を要求し を受員會に李氏の任命方を要求し

東北軍政會議

一各地到る歯の洒醬油雜貨店へ御用命願ひます

李紹庚氏推薦

太郎ち やん

総選擧の結果は

いでせら、私は主としてといいでせら、私は主としてといいでせら、私は主としてといいではなく御時長とは何等関係はなく御時になく御時になる。

どの程度まで食ひた

すぐりに鑑めだ上玉譜り六十四名 る中から六十四名を選び出した紫彩盲観響所小院警部、警井警 神戸、岡山、廣島、松江、鳥取た響彩盲観響所小院警部、警井警 神戸、岡山、廣島、松江、鳥取 神戸、岡山、廣島、松江、鳥取 神戸、岡山、廣島、松江、鳥取 神戸、岡山、廣島、松江、鳥取 神戸、岡山、廣島、松江、鳥取 神戸、岡山、廣島、松江、鳥取 神戸、岡山、海県・松川、東京 を いっれて九日入港はるびん丸に 昨年来中國方蔵に本年度甲科生家 を いっれて九日入港はるびん丸に

人連で初めて行ふ

人掛りの交通量調査

將來の交通取締計畫樹立のため

と と は 相常注目されて るたと と を で見られて るたと

天部二等主計正改 長二等主獣正矢部側二氏を彰ね、 十年振りで満洲に來たんだよ、 十年振りで満洲に來たんだよ。 まのがある器ぢやない、講會 がある器ぢやない、講會 かが、これと云つて纏される。

あす交通訓練デーに

けふ人目を避けて

奇特な支那人

拾った金を届く

日出帆奉天丸に乗船上海に赴くと噂されてゐた海に赴くと噂されてゐた 遭難死體が漂着 

月も經て ル に種々協議が行はれる模様である と同勝軍の上海に於る自飛艦人との間 と同勝軍の上海に於る自飛艦人との間

三輪市太郎氏死去

昨秋大海習中に墜落した

佐々木飛行少佐

高砂雷の例論 高砂會にては十一日正午より大浦市社會館において例會を開き老校、巴 千手、雲林院、海士、朝長、輝生門 【名古屋九日發電】愛知縣第三區 日政見發表演說會で辛餅し爾來部 年六十四歲、氏は明治四十五年代 年六十四歲、氏は明治四十五年代

教世軍の<br />
禁酒號<br />
教世

安藤技師も二日

先生たち

卓球試

立住生したが順長の野意でき料やしてあた。
「ハルビン特米八日被」第八十六一般其を提供され膨胀しつく八、一般以を提供され膨胀しつく八、

國境勞農官憲の無謀



#### にあたつたので出迎へ人も頗る多く久方ぶりで「定郷船入港」の懶量を現出した大十四人の潜公室さては公用私用を帶びて陽省中だつた知名士、陸軍側では主批縣人と云つた賑やかな鶴間れや話題を鴻載して午前九時港外についたが、丁度日曜日長と云つた賑やかな鶴間れや話題を鴻載して午前九時港外についたが、丁度日曜日長と云つた賑やかな道とは公用私用を帶びて陽省中だつた知名士、陸軍側では主批縣 重大用件はな 賑やかな話題を乗せて けざはるびん丸人 ん丸、内地の政戦の模様や満州戦官を認んで採用試験にバスした

告發さる

法違反で

満廿五年の陸

軍記念日の行事

作を期す

きのふ宝

平司令部發表

師の優遇に 一学及軍事功 病兵、職柄

たのだ奉天、遼陽、長春に行ったのだ奉天、遼陽、長春に行った。 と思って本

東京九日設電」小泉滅相に過程 第二區有權者八百五十名を去る一 第二區有權者八百五十名を去る一 二十錢を懷收し實實五十五錢の經 を行ひ選舉運動をなしたと云ふ

粒選りの

言官の練習生

小阪警部等に引率されて

六十四名が着連

らずと雖も概れ左記事項の資施行事は地方の情況により一様な行事は地方の情況により一様な

派遣範圍を概ね左の

し果では融島巡査を健康して製行 は監視でも手葉繁部補一名巡査二名をとて自 が、関連でも手葉繁部補一名巡査二名をとて自 が、関連でも手葉繁部補一名巡査二名をとて自 が、関連でも手葉繁部補一名巡査二名をとて自 を持み繋行せしむる一方鍛 が、関連でも手葉繁部相以下巡査二名をとて自 を精み繋行せしいる一方鍛 を持み繋行しという。

管施すること 管施すること

修繕料

四回沙司

はころとはいうにいくいかがらいっていること

**季** 目 ◆付、鑄鐵管、鑄鋼、鑄鐵並員鑄鑄物、酸素瓦斯 與造、捉

泰天西塔大街三丁日

計 (代表共通許號 九一五三巻

大連市沙河口臺山町

會株

お待兼ねの連鎖商店の支那料

紀元

ます

U

活

動寫質の映

には左の如 は獨立守備大隊長とは獨立守備に於て區處する箇所は前二頃に拘る匿處することを得して強め駐屯地 は各地方に於て

令部に於ける實施豫定左の

がの申込に應

とほ

りに

「湯崎子精賞九日渡」沿線谷地の 所店崎麗起の下に九日午後一時よ り湯崎子濃泉紫爽閣に於て消費組 の下に九日午後一時よ

マジョン

二百人様の大宴會場・・・・・・大連一否滿洲第 銀座通榮町角連鎖商店街

堂官中階二 

心の緊張振 勇士な

を弔ひ

代列車で旅順に向った

の中には私立大 事門県校卒業 教育を受けたも と云ふ好成績だ に憧れの満洲 で黄燐マッチを使用することを膨 で一杯で十二時 禁された

第三囘

差押吏を

し果ては融島巡査を包閣して製行ろ同部落鮮人は撃つてこれに反抗 「養職・費人日發」當地領事館附 の営め去る六日朝開原縣下郎家屯 へ出張、同地債務者醛人十名に監 た。 包圍暴行 多數の鮮人が

大活劇・ 大活劇・ 大活劇・ 大活劇・ 大活劇・ 大活劇・

封切公開 明十日 

本山到着致しました野町大連製肉所 本日到清致しました 猪が

フェルト各 フヰング 半號 一號 號

山縣通百四十九番地 チ和製品 二號 三號

電話五七

鐵骨家屋、豆油容器、暖爐類鐵道線路附屬品及信號裝置 七六番

二號

表近日本映画と外國映画とに同じ 最近日本映画と外國映画とに同じ

地方で喧嘩する

では、大連市吉野町ニス

孙崇隆五阮

印リカハ

野中醫院

暦を飲つてゐた人影へよびかける 十五六間離れてゐたらうか、夜

お仙は左近の数をなつかしげに想ひ撒き乍ら

は左近の姿をなつかしげに

僧を淺草門跡まで設り居

た。とはけしく夢るばかりなのであった。

の手には一動の紙包が

「さらばだ!」 再び岸へとびあがつて、森下の方 のソッウと消えた。

河原塚

では、いつ再び逢へるか知れなか 東亜キネ マの「ラッシュ・アワー」 では、いつ再び逢へるか知れなか 東亜キネ マの「ラッシュ・アワー」 は、たが、左近はふりかへりもしなか 日活の「女」河合の「女」等数と さった。 しても蹴分あるが数官が戯作して とった。 龜太郎畫

東合に地方館は同題名の映画観が 東合に地方館は同題名の映画観が 東合に地方館は同題名の映画観が 東合に地方館は同題名の映画観が 具合に地方館は同題名の映

オキー 在りし日の榮華は何處 が造つた

三臓は水棹とつてググウと石垣をヒョイと化け船へとびらつると

船はグルリと砂つて、對岸へ…

ヒヨイと化け船へとびらつ

時代の色濃く、その壁やかな昨日 を見せてゐるベテイ、カンプスン時代の映畵生活者の中でも、全盛 ト、ガール』で返り吹きの力強さにもまれて早くも悲鳴を擧げた舊 ラヂオピクテュア社の「ストリー全米を襲ふたトオキイ時代の大選」の短端ものなどに姿を現はした。 と暇されてゐるクララ、ボウなどと暇されてゐるクララ、ボウなど かわからぬ運命は持つてゐる。ヤ 映畵界東西

に較べて最も著るしい凋落の影を時代の色濃く、その鑿やかな昨日

新らしい時代の新らしいもの。 新らしい時代の新らしいもの 学成人によって組織されてある。 日本キネマでは今回樂殿部を新設 一般編製家の要求に應げ、申込は 一般編製家の要求に應げ、申込は 一般編製家の要求に應げ、申込は 本キネマをは今回樂殿部を新設 が高度した。 一般編製家の要求に應げ、申込は を取送す、申込は をのという。 では今回樂殿部を新設 では今回樂殿部を新設 をのという。 では今回樂殿部を新設 をのという。 では今回樂殿部を新設 では今回来という。 では今回来という。 では今回樂殿部を新設 では今回来という。 ではりからの。 ではりの。 でし

中根離太郎原来主演 中根離太郎原来主演 常置語子 秋田伸一助演 芝居職工慰安會の面白き倫理 アナかデ 六日で開るま 廖

## 新 前 後 ## 新 前 後 を明の復讐史の幕は切て落される 変明の名驚 真人熱知の名驚 真人熱知の名驚 真人熱知の名驚 一回主政 一回主政 一回主政 一回主政 一回主政 一回主政 一回主政 一回主政 一回主政 一回主政

电話六四六六 苗

クラ、が全身の媚態

な相良

順

尼

ジャズの風景

岩 **男** 診男岩 診界保 室室室

切

安

右

衞

說解

高爾笑治

公

ラ ラ

・ボウ

娘

E

悪間林太郎・近松英三郎主演 悪間がひの兄弟のひがみかち起る 速館 大連市三河町十八

展瀬恒美雄 瀧

躍る、海人廣瀨の快演!

助演

円献命由五

刻

解說

生流恭美、

白藤愛光

翘缩

歸明 並キネマ超 下階一 持続の方に限る 後期優時

日活內田吐夢監督現代海洋大雪劇

藤間林太郎・近松英三郎・水・味情経の田園哀話

銀に驚くべき古典美の大傑作用を設定という。 東妻三郎主演映画

彼竹十

5 

生

會は兹に被天荒の番組をなず あの王者・モガの大統領 殖器二

言外 0

强味 これ MA 紹 批计

がよこづかる。 船がよこづかる。 に、 第年概を 折の屋形が吊上る。軒には 権力動くの 権力動くの 権力が存な提び

フォンの前に立つやちになると

を熟狂せしめた嬢も、十年齢を紹っていまりしまり先きコ社の「名を」のヒロインとして満都の子女を」のヒロインとして満都の子女を別のヒロインとして満都の子女を別しまりた。

勘評

お峨を揺く。 身をかくすがよいし、此處

はして実験の無いにチラつく御用 でして実験としている。 でも、御苦野様」 であ、御苦野様」 であ、御苦野様」 名を贈かに止めてある「赤輪」などといふ連縁活躍で活躍してあた とといふ連縁活躍で活躍してあた

「へい、溪草の御門跡でしたな」「飛代はあげる急いでおくれ」 「酸痰ぢやないよ。御門酸へかつ は、過る年表来期したよンローツ し、過る年表来期したよンローツ し、過る年表来期したよンローツ

大連 自午前十一時相場(特 音、と変が、株式、各地相場)を 各地相場)を三十分相場(特産、 を地相場)を三十十分相場(特産、 を地相場)を三十十分相場(特産、 を地相場)を三ユースを自午後三十分相場(特産、 を連門をが、大倉無額大、大の優特産、 のは、大大のの大の、 を連門をが、大大のの大の、 を連続をが、大大のの大の、 を連続をが、大大のの大の、 を変が、大大のの大の、 を変が、大大のの大の、 を変が、大大のの大の、 を変が、大大のの大の、 で変が、大大のの大の、 を変が、大大のの大の、 で変が、大大のの大の、 で変が、大大のの大の、 で変が、大大のの大の、 で変が、 を変が、 を変が、

切られ與一文治中公開迫る小林式トーキー m 國 60

一九三〇年浦田映畵の光郎 現才小津安二郎監督 製才小津安二郎監督 製才小津安二郎監督 東島すみ子、高田 稔 瀬波須原子特別助演 森靜子、志賀靖郎 森靜子、志賀靖郎 八日より更に飛踊映番呼上リヒーマリア・ルマルクの西部職線異状なしより

方稳

ラナナ

ます 不用品 費却の場合 では、特に個相談致し 金融機關 貸出勉强 弊店の特色 便なる 公屋質店

吡 耳 量 五版主 二章 醫 0 - 四

梅華計算 鑑定 宗像建築事務所 语识宗像主一

夜費明六十 時 時 中 半 第1110001



來 同 が ボブリン・ 送料十八錢 上夷紙

受験準備 かぜとねつには の間のの 風を引くなと 母が慈愛の 手ががに ヘブリ 添 へて ン北ル

ハカリ印のヘブリン丸こそ真のかぜ薬であります。器管に故障を與べず、おだやかに、ねつを下げる胃腸を害せず、心臓を保護し、頭痛を鎭め、外のかぜの薬なら何でもよいと思つてはなりません、 世十五三 百日日日十分分分分分 登 五 三 二 十 十 円 鰻 銭 社會式株堂天参市版大

· 表紙四打張 二打張 二打張 盤號類類像店 四四十五十五錢錢錢



でまあ何てい、職なのでせらい。然く染めて恥し相笑にひました。

もよう。あゝそうだ!、私の職り 私の誕生日にも井出さんをお呼び

なによく離れる事だらう。

り遅いので

思って心配しちやったわ」

りました。 取籃マーチだつたので さんのハーモニカの 顕奏から端ま

になって上げやう。そじてあずの なこった。可愛相な井田さんを観乏人の子供であ ました。可愛相な井田さんの最にいと思ひ にしなかった自分を恥しいと思ひ にしなかった自分を恥しいと思ひ にした。可愛相な井田さんの最にお友達 になって上げやう。そじてあずの

をよい日曜日でした。和子さん等が戦くかからぞく (人と遊びに來ました。 知子さんの弟も飛出して来て ピンポンをしたり、トランタをした。 りして此處ばかりはお正月が再びした。其内にお遺近くなつて 大かの様に臓やかにな カーラングをした。 まつにお遺近くなつて がいた おづく と遊びに来ませた。

和子さんの誕生日出

3

懸賞 童話 選外佳作

た。それから二人の間にどんな終れが出來たか、間もなく傾見く様になった二人の数は、足どりも瞬に

「赤い帽子を冠こた老人」

レンプラ

「あ」、「想力」
つて、ロクに話もせず變味へ了
た、おしげの発體に觸れもしない
た、おしげの発體に觸れもしない
た、おしげの発體に觸れるしない 大は社會とはこんなものだと彼 女に説いて聞かせたことがありま 思ふに、實際的な基礎を持つて 生れて來る行動こを最も強いもの であり得ませう。本を置む、 変に、 変にという。本を置む、 変に、 変にという。本を置む、 変にという。 であり得ませる。 であり得ませる。 であり得ませる。 でまた、 変にという。 であり得ませる。 であり得ませる。 であり得ませる。 であり得ませる。 であり得ませる。 でまた、 変にという。 であり得ませる。 であり得ませる。 でまた、 変にという。 であり得ませる。 でまた、 変になりる。 でまた、 変になりる。 できた。 できた。 変になりる。 できた。 できた。 変になりる。 できた。 変になりる。 できた。 できたる。 できた。 できたた。 できた。 できた。 できた。 でき

大第に、社會主義を感じはじめたそして彼女は夫への愛情を通じてそして彼女は夫への愛情を通じて

小様の「暴風獣液器」は一風製 小様の「暴風獣液器」は一風製 でみ込ませるために書かれた。いたのなりませるために書かれた。いたのなりませるために書かれた。いたのなりません。

書きますが、この中に私塗の問題 ました。このやうでよいて書きます。職後感の形で そういふ問題で話して書きます。職後感の形で そういふ問題で話して書きます。職後感の形で そういふ問題で話している。 情報』と『暴風警 戒報」とに就いて 小説にはそう書かれてみます。 そういふ問題で話したことがありました。このやうな立場に置かれて第つ人もあるのです。彼女はそうして自分自身を育てあげ、引かれ この小説の終りは斯らばばれてるに加はるやらになります。そしてに加はるやらになります。そして 書き出した。 本では「大きなのでは、 ならない。といふ事です。それならは、 のか?そして、経営に主場が鳴者を でならば、歴民や費市民はどうなる。 のか?そして、経営に工場が鳴者を でならば、歴民や費市民はどうなる。 のか?そして、経営に工場が鳴者を はならない。といふ事です。それ のか?そして、経営によれなけれ のか?そして、経営による。の でならば、歴民や費市民はどうなる。 ははらない。といふ事です。それ めい。といふ事です。それ めい。といふ事です。それ ののか?そして、経営による。の ははにはならない。といる事です。それ ののか?そして、経営による。の を対し、といる事です。それ ののか?そして、経営による。の を対し、といる事です。それ のの場所を持つべ、といる。 

の方向をゆがめず、そして天候の見透しを付けねばなりません。道は影響です、險盟です。明日も風は赤るでせら。

を私は信じてベンを擱きます。

٤

ひそかにもわれ

子のころう

聴明と、そしてあなたの正義を

これら二つの作品が、あなた

他木ひらいて

散らばれる

人の、次第に世の中を知つて行くがある、それを見出して下さい。「情報」に描かれてゐるのは、一

女性です。ゴオルキイの母のやう

ただそれが母でなくして。

能は「惜しさで一杯になるのだつであるのがこのおしげです。

あ」、疲れた…

せず寝床へ入つ

ったし

それは、夫への最初の情報であ

小説の一番はじめにそうありま

要な地盤に、踏落しやうとしてる ――我々の縣は、××政黨の重

四人の惡魔」評

り始まる。

書面は四人の花形の幼年時代よ は、 アイルランド人はアメリカ合衆 関を建て、完全に解放されたと思いてあたが大部分の國民は殆ど皆のの如く資本主義の下にうめいて

は、サーカスの花形として「四人の悪魔」に成功してゐるのである。 実の頃にも田舎さわりサーカス 感、第二の「四人の悪魔」は残っ であるのである。 突然成人した後等はパリに於ける年の經過を挑殺してゐる。そしてところが諧励は四人の孤兄の十 であるが、幸ひに獣師の構成上原であるが、幸ひに獣師の根の下に選ばれてゐたの でないのだ、若し地際家、観客にはいる。として其例語を見聞したい時は商店を成なしの影響時間、年期率公に依然はすべて現實社會の可機服を見るべきであれてある。四人の孤見に凝した人味はすべて現實社會の同機服を理要せられてある。四人の孤見に凝した人本は同様現實に目を向けている響だと思ふ。斯らしたの解語をと思ふ。斯らしたの解語をと思ふ。斯らしたの解語をと思ふ。斯らしたの解語をと思ふ。斯らした。

冬の

大石橋

新島藤

興魔」は熈長老道化役者の下に幸 **船な名歌を攫にしてゐたのだへそ** 野多は ち、はられんね. テッほつべたを 冬の風 あかんちょこべ まあるいおかを

連腸に於て、個に人間生活の 即ち駆惰が生れる、若し映響 の社會關係の蹶脈を軟ぐ場合 の社會關係の蹶脈を軟ぐ場合 でするともの。前述の如ぐ

日を重ね野脱の雪も絶え絶えにこ 月例會詠草

和子さんは急に元気になって大 きびで井田さんを辿へました。け けぼらしい井田さんを見ると、態

サーバーイ御覧の通り失くなりー」 をつた響の白鰯が落ちて來たので なった響の白鰯が落ちて來たので が和子さんの薫鰯舞踊でした。和 子さんが立上ると井出さんも餌を に 続らめ乍ら解かに立上りました。 像は非川さんも一緒に隠るのだら なった響の方が立上ると井出さんも餌を と笑った者さへありました。

白癬を入れてくしやし、にまるめ ・ 中田さんはハンケテの中へ元銭 ・ 中田さんはハンケテの中へ元銭 山査子の枝も断れてる 和子さんは聴れと巧に雕りました。 職機つても眺ひ終っても見物 た。 職機つても眺ひ終っても見物 でした。ですからお父根の御輿美 にした。ですからお父根の御輿美 しい優しい淋しい思ひ出の 此の雲はいつか見た雲 此の道はいつか來た道

□文藝建誌 連潮」創刊 三月一日和刊號を發行、毎月一 回、會費三十銭、同好者より小 設、敷油、暗筆、短號等の客稿 うつそみ早く疲れそめつる 

岳

池田小兒科門醫院 娛樂の設備あり 凝洲唯一の温泉場

大連市西廣場西入る電車通

かい かい かい ない を要せ でする である。 である。 では、 でする。 では、 でする。 では、 でする。 です。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 です。 で。 です。 で。 でする。 です。 でする。 です。 で。 で。 で。 で。 で。 で。 で。 で。 な出せる典 災な食卓に 無駄なこぼ



○能・明・書・贈・品・金のにせ物育犬印に御注意 既全な被害を続けられます 見や問題前にかりる憂なし 人れて與へられりは榮養不 大阪市直開所八木郎町東京市師・四輪川町九

乳兒榮養料 ー牛乳薬養の必需品ー 〇牛乳やコナミルタでお見様 何元して母乳と同じ要素優 にするものです をお育ての時この弦養糖

色白く美しく

なる

專賣特許

限り無き魅力を加へる時

ウテナ」召しませ君よ

されば君よ

春先には雪印(鸚) アレ止に月印(蝶) 栗店大自貨店にあります。 時の美肌栄養料に 化印 (本社) 『ウテナ』正僧二師、二個、三個 の事實を以てして、この作品の特別を、私は上に述べたやうに可能、を告げてゐる。――まことにでは、それは暴風のでは。――まことにでは、とのでは、とのでは、といば、それは暴風のです。――まことにのですの難りに、この作品の特別を告えないだららか。船を 関係を、私達にさし示したそれので、こう 短詩(懸賞三等) 2

春

ここに出て來る人物は、

(四)

こころに 大平元子

響はもうあひに來てゐるのあたりはまだ まぶたを落してごらんな

母になって

さい

永生こい なことば

いやきに來てるます

うとちかづけて

日かりに

うれひのかけあり

子等とゐて

客はもうあひに来てるの 窓なし部屋のやうだけど ゆびをくんでごらんなさい 更に新しいあかりをつけやうと消えてなくなつたあと 永生といふことば

客はかるい素足でしのびより いたりやねるのやわらかさで とほいところから ある母になって

はつきりわかつた

日やみ空青めり帯立つらしも 寄本 初雪 **冴えた冬の屋仰ぎたり** 見送りて出でしかなめの頃の外に 御室 茂夫

一のためる のないが、底まで割れば古 がいある。 のないが、底まで割れば古 をする危 ながかなしく踏みてゆくなり 中尾千代子 中尾千代子 心はせちに密を待つかな 木州丈夫

きもしるく騒あらはれぬ きもしるく騒あらはれぬ 近襲 銀子 目づから湧き出る涙のすべもなし

く別るる人を惜めり を浸き液止場の風に吹かれつつ造 思はじとすれど春待つこころ 宮土ふさ江 宮土ふさ江 笑みて別れを告げんと思へど 洗

風雅ひきこもる日の多かりき 神子元千歌子

配人の疲れしまなこぞ好ましき客

本々の梢のさゆるるけはひほろ温 末野 稠 別れてふ盡きぬ名残の語りして夜 くだちにきく木枯の音

な思想おぼへていねられずかも とのよべは昨日にますの身體いた とのよべは昨日にますの身體いた

ながたき渡れおぼえて二度三度 いなりしては思ひまぎらす。 外川よしみ 外川よしみ 外川よしみ 永原いね子

風やみて小夜ふくる街のしづもり に夜汽車の笛を練しみにけり プの端の確を見守る 売川石楠花

の便あります 瞬より乗合自動車



なく全く防禦的であることは、そなく全く防禦的であることは、その比率が最も維癬に證明せられてあるではないか。この受身の國防を以て最小限度の艦艇を保有するからには如何に米國といへども、からには如何に米國といへども、からには如何に米國といへども、 職なからしめん為には英國は最高一上にて潜水艦に関する條約案を提 職以前に力 均勢と大なる背、職メルデエ氏は十一日職務總倉職 民政、政友ともに

政府取締りを緩和

與黨の形勢有利と觀て

(=)

說

(际內市)

補助艦艇の比

を促す

反省

ころであらうと思ふ。 英全権

協議し五時辭去した。

當選二百二

政友會も第

の一黨を豫想

二百三十名

酸がず一切無電代職者が原稿を 態機をたのまれ登壇したが、話が が単山口際に影響中中山太一氏の が単山口際に影響中山太一氏の

先づ第一期の事業流手と同時に現場が事業にも及ぶ試験であるが、

あらうと

第二高等學院

場たる観測

る百五十支里の軽纜を敷設するで

0

上げると蒙古玉それに合せ騒を上げると蒙古玉それに合せ騒を

消費組合に對抗するため

能網八三錢那券相添〈志學屬 稻田事門學校(附)

I

を学校で果老田二同番以上 を学校に専行業務 ・建築・株/核・電点 ・電気

今中學校卒業者並三同等以 今中學校卒業者並三同等以 門月二日受付三月州日登

OII 左手的 部

奏天邦商が設置計

東京九日發電」八日政友能選舉 を食能浴直太氏は選舉狀勢につき を食能浴直太氏は選舉狀勢につき を食能浴直太氏は選舉狀勢につき を食能浴直太氏は選舉狀勢につき を食いか常選見込みがないと云ふ 名しか常選見込みがないと云ふ 名しか常選見込みがないと云ふ 名しか常選見込みがないと云ふ ので非常に狼狽してゐる夫に引 のた結果姿を納り堅質な作職を執 酸選主義を納り堅質な作職を執 をして進んでゐる、少くとも二 として進んでゐる、少くとも二

選擧ゴシ

臣だ」乙黨員「馬鹿ッ本 一覧 一幅を注文パクついて

東北地方遊説の町田農相は七日河東北地方遊説の町田農相は七日河の驚鳥が寒一流料理屋へは一大田・地福島縣三春町に遊ぶ、一流料理屋へは てはく「宿り

候補者潤清あまり興動して死なり 概算が減壁で心臓嫌寒で概形、 都宮では、栗原民政候補の運動員 都宮では、栗原民政候補の運動員

東して聴援、御殿で演覧會は毎夜東して聴援、御殿で演覧會は毎夜 生人形し

共同住入れ機關を設置し大量住入 ので近く實行に称る線にならうと

「塞天特党九日發」 満盤消費組合 れを計覧して、あるが既に弘和洋。

入するも支障なしとする意見が多くない。

北満鐵路沿線に 約五十萬人 八移民

工事門科部

一月十五日之 一月十五日之

**隆** 

摩技卒業・一手學校程度

考査フ上入學許可

大學所可不

| 「大大大学 | 「大大学 | 「大学 | 「大学

工學校

四月二日四月四、五城日(瀬野清末)

學長永田秀 學長永田秀集

ハガキで中

學則差量 東京品川驛前 放於此位 東京品川驛前 放於此位 東京品川驛前 放於此位 東京品川驛前 放於此位 東京品川驛前 放於此位 東京品川驛前 放於此位 東京品州區

帰せる陳傷、痔疾等に りにくいきづ、火傷、おでき 陽及皮膚

関家の獨立を犠牲にまでして相對 情家の獨立を犠牲にまでして相對 相對的の國防調節を主眼とする。 はないである以上、軍縮なるものは なのである以上、軍縮なるものは ないである以上、軍縮なるものは はないである。 である。そこで原則論からすれば、である。そこで原則論からすれば、整領する。そこで原則論からすれば、整領する。原則論からずれば、整領である以上は、當然に對等の概察の衝突大小に別なく對等の観といふことになり、各國民の負擔といふことになり、各國民の負擔ならぬ。仲しそれにては海軍競争の個人である。原則論からすれば、何知の國防關節に應ずることは、何 率に關して 日英米主張異なる 米國は先議を囘避す

米國新基礎案提出 園も巡洋艦先識を瀕りに主張して ツ巴の艦闘が作られてゐるので米

英米勢力均勢に闘する

東京九日愛電」政友會は明十日 ・ 大を懸いし立て少くとも入門ので表をな ・ 大を懸いし立て少くとも入門ので表をな ・ 大を懸いし立て少くとも入門ので表をな ・ 大を懸いし立て少くとも入門ので表をな ・ 大を懸いして二百八十餘名の候表をな ・ 大を懸いして二百八十餘名の候表をな ・ 大を懸いして二百八十餘名の候表をな ・ 大を懸いして二百八十餘名の候表をな ・ 大を懸いして二百八十餘名の候表をな ・ 大を懸いして一百八十餘名の候表をな ・ 大を懸いして一百八十餘名の候表をな ・ 大を懸いして一百八十餘名の候表をな ・ 大を懸いして一百八十餘名の候本 ・ 大を懸いして一百八十餘名の候本 ・ 大を懸いって一百八十餘名の候本 ・ 大を懸いまし、 ・ 大きをできるが、候補者部に作機 ・ 大きをできるが、候補者部に作機 ・ 大きをできるが、候補者部に作機 ・ 大きをできるが、 ・ 大きをなが、 ・ 大きをながが、 ・ 大きをなが、 ・

之に反撃を

東より陽西方配に至り之 加へる方針である、耐し 上海がに東京の本部に置り とであると関である、でし であると見てある。 であると見てある。 であると見てある。

政府の作戦協議

安達內相、首相訪

ける神湾的強展を期待

上京せしむる事に決定し八日拂斃|運動本部を置き本丸職會長、蚕田管運動員として加世田市民會長を|方常地に於ては驛前番田洋行内に「金州特電九日發』昭和製鋼所設|より大連運動員に誤解を求める一

行つた

金州代表上京

明十一日出發

名は大連の関係方面を胚帯運動を九日日曜日にもからはらず代表四

製鋼所設置運動

自働電話側の

金州市民會も参加

大連

0

明年度豫算案

新規事業は卸市場や衛生設備

前市長の方針を踏襲

吉林省で阿片

▲佐藤信次氏(大湾青島支 九日入港綱丸にて來連 九日入港綱丸にて來連

上海支店次席) 最支店長し 公編成に着手

と共に上京を約して同日開金した と共に上京を約して同日開金した

田より地方遊説に出発する海口首相と打ち合せのため九日午前九時 育相を宮城に訪ひ協議をなし 目下の情勢では政友會との勝敗 の敷既に明かであるが我黨は徒 らに樂觀せず決職の近附くと共 に濱口首相の名に依り各候補者 に豫職情報を發する

哈市國際商議 し合せ午前十一時辭去した

に いんピン特徴八日独 在哈英、米、佛、嶽の名國商人は商業會議 米、佛、嶽の名國商人は商業會議 では かられると 日本側態度未定

に加へられる筈で之と同時に商工跳の新設なども見るべく、窓は二十三、四日頃から豪華館に附題さする事になつた、大艦は石本前市長の方針を踏襲すべく、観質市場問題及び衛生設備なども新規事業市館で後低市長も決定したので、新市長となるべき現田中民政署長の方針に基き十日から編成に滑手大連市役所の昭和五年度豫算は市館の続援、石本市長の辭任等で未だ齎乳してゐなかつたが、過戲の大連市役所の昭和五年度豫算は市館の続援、石本市長の辭任等で未だ齎乳してゐなかつたが、過戲の

軍縮會議 政治的協定が必 の前途

略された場合は、其他のすべての 日本が加はつてゐないから局部的。

新ない。 一般音楽の成別りであったが、同音である、即ち日米海軍の角逐であったが、同音を中心としての日、英、米、佛

本名無殿公務員實施細則十四傷餘 係る縣殿公務員實施細則十四傷餘 係る縣殿公務員實施細則十四傷餘

自派の勝利を豫想

に過ぎない、これを日本の三十一 とのである、ドイツは陸海軍に使い パーセントに比べると非常に少い 不職條約案の起草者 本、受験とでは、 である、又不職態的にないので この感を不安観してある國もある。 文である、又不職態的は國家の自 のである、又不職態的は國家の自 のである。

な事を言つてある―― 電備を存在せしむるに なら大砲の口徑や軽船 なら大砲の口徑や軽船 なら大砲の口徑や軽船

サ行為を無能して歌いまである、 国際歌歌思想がこれ、ないまである、 国際歌歌思想がには、総約歯は歌いまである。 での約束を無能して歌い事に説へた この約束を無能して歌い事に説へた は、後さられる。 は、他のすべての歌歌を承認し、萬一 である。 は、総約歯は歌いまである。 は、他のすべての歌歌を承認し、第一 である。 は、他のすべての歌歌を承認し、第一 である。 は、他のすべての歌歌を承認し、第一 である。 は、他のすべての歌歌を表記し、第一 である。 は、他のすべての歌歌を表記し、第一 である。

世で 「名古屋九日愛電」愛知縣第三區 加 第三名政友會愛知支部は適當の 如 第三名政友會一名の無競爭地帶と 如 第三名政友會一名の無競爭地帶と が政友會一名の無競爭地帶と

三輪
此の
弔合
職

和と打合せ

大連の先生達のビンボン試合できのよう

### 高松宮、同妃兩殿下 べ夜行にて東京へ御歸還

家主側に對 に賃貸契約 に は家内に は家内に

**南替店を襲ふ** 

をり哈爾賓藩は毎列車五時間が至一番の中の爾賓藩は毎列車五時間が至一番会に職害。

中間、牛筋は合献して入間八十七 酸となる、

臓物ともなる可き牛骨 では百姓五銭であるから二個五十

生を保障すべしと通合した生を保障すべしと通合した

注意されたい」と七日

常が遊泳の結果。一時日中に として教世軍では難からず慣 として教世軍では難からず慣

自動車强盗

職は上野職で田舎少女がポン弱の機関際に関重なる抗議を申込み再

奉天に現る

二百気の目切りを見て本常の質品でされる。併し三十寸1

市側では飽充

電子大学電九日漫』八日午後二時 一名の支那人は矢壁にプローニッグ拳銃を接いで店員をで乗り着けた 一名の支那人は矢壁にプローニッ大洋合談百四個を影響して店員をで乗り着けた は直ちに警官を現場により案天警察署で は直ちに警官を現場に急行せしめ は直ちに登らなかつた

金牌受領

不是面

断行する決心

市民の利益のため

常る人も幽霊になった旨を申立てとで数年前ルーツイー嬢の祖母に

【水戶九日發電】茨城縣第一區中

幸館 大坂西區駅中華一川宅職祭毛くせ毛のけ毛折毛を防ぐ事業

覧を黒く長くつやを出

鮮人思想團體

テルに御園還御少離後午後一時三十分御出門大嶽寺龍光院御籠、有栖川路御霊所に御城、いと麗 うに御縁飛同三時ホテル御蘭遺熊なく御旅程を終らせられ午後千時十四分京都**陳御**遊御蘭京あら

#### 巾役所と市場が睨合ひ 借受人に市場組合が引渡さぬ を中心に

出版する場合は從來組合のの職家で常時點に試験が出来てある。之れも終野市長からた響である、不慰氣云々も理由に 利益の減少を

なくされるといふ理由があるから 驚くべき暴利振り 

こする時は三圓七十五錢、牛筋五一 來月初め一 獨逸に起つた珍裁判

田本裁判権が続の大宗成運動を奉 は三月一日より七日までの一週間 電偏に荒手する管であるは三月一日より七日までの一週間 電偏に荒手する管である 治廢の示威運動 奉天外交協會の計畫 大交易會の計畫

「大阪運動」

「大阪運動」
「大阪運動」
「大阪運動」
「大阪運動」
「大阪運動」
「大阪運動」
「大阪運動」
「大阪運動」
「大阪運動」
「大阪運動」
「大阪運動」
「大阪運動」
「大阪運動」

【白曜月

は何等の遠法を認めない。

成行き注目さる は規約の適用が何うの無うのと云い、は規約の適用が何うの無うのと云い、ふよりも市民全職の利益増進に善い、続いてると同時に翻事物所続の間がいると同時に翻事物所続の間がいるという。 を得る事になる、機能すれば市場を得る事になる、機能すれば市場は一般市民より年に二十五萬餘のは一般市民より年に二十五萬餘のは一般が一般が一般が一般が一般である。海宮では組合の意に戻してと歌めた場合は組合の意に戻して決行するの意を健なる態度を示して決行するの意を固める。 自分は何らでも好いのですが組 自分は何らでも好いのですが組 自分は何らでも好いのですが組 自分は何らでも好いのですが組 『借家人は幽霊を

云々と語つてゐた

ば吉林省政府は最近全省各縣政府 | 時職総配のため死去した。 『吉林特電九日號』開く所に依れ | 立候離北山保(ま)比は八日午後六 吉林の匪賊討伐 井上浩子孃が 日本記錄を作る

奉天スケート大會で



一分一秒の日本記録を破り 一分一秒の日本記録を破り 大全率天スケート大會女子 次レースに於て井上浩子館 次レースに於て井上浩子館 た全軍天スケート大會女 学五百米

養ふ權利ありやこ

學者連の大議論で大騒ぎ

【ハルビン特電八日酸」の解決で満洲里を通過し組 の解決で満洲里を通過し組 を經由し東級から南滿に出 を終由し東級から南滿に出 たため橘洲里國域間近のな たため橘洲里國域間近のな たため橘洲里國域間近のな たため橘洲 注意通生

かつて ならぬといってゐる 大いに奮歌 老頭見連も

名譽のために濫職數刻午後三時四にラケットを振りまわして自校の

は必らず脚蜒する時代が来ると 、一は必らず脚蜒する時代が来ると 、一大部分の選民が現在のソウェー の大部分の選民が現在のソウェー

侮辱するなと 救世軍が大憤慨

【ハルビン特電九日数】東線管理 これは態能手管が月間式に毎月交 校を卒業し音樂、舞踊を一通り歌いか乗り込んで来たので龍帝を悲鶥 受けると云ふ用心からであるが、吹き一家の生活と財光の身の振りが乗り込んで来たので龍帝を悲鶥 受けると云ふ用心からであるが、吹き一家の生活と財光の身の振りでか乗り込んで来たので龍帝を悲鶥 受けると云ふ用心からであるが、吹き一家の生活と財光の身の振りでかったが、誤職補助金を一時に支援 ば自ら進んで離職し其金で米國へ 國を追はれて十数年東緩から職をつたが、誤職補助金を一時に支援 ば自ら進んで離職し其金で米國へ 國を追はれて十数年東緩から職をつたが、誤職補助金を一時に支援 ば自ら進んで離職し其金で米國へ 國を追はれて十数年東緩から職をつたが、誤職補助金を一時に支援 ば自ら進んで離職し其金で米國へ 國を追はれて十数年東緩から職をである。 方を考へる気の器なく南へ――南へと 関を再び憶ろに喰め形勢を観客

野歌戦艦で 繁行中の神合映鑑 | 戦の女士官を主撃としたもので結れ九日韓電 | 目下東京市内外 | 「愛火燃ゆ」と懸する寫典は数世 河合映畵『愛火燃ゆ』に 警視廳へ捻ぢ込む

毎日のロシア新聞の三面を転はしてあるのはさうした生活に行き設に であるのはさうした生活に行き設に 自殺するもの多いことである。自 自殺するもの多いことである。自

に下車せしめられた、

女學校出の娘は

踊子となっ

失職の親達の爲めにバンを求め

其他死を選ぶ者激増

日 校長さんも潜い先生達といつしよ にラケットを振りまわして自校の は影響の知識を記載町大 が長さんも潜い先生達といつしよ にラケットを振りまわして自校の はいまして事行されたが腫が が長さんも潜い先生達といつしよ 

通行人難造に 交通事故增加 日定排船で新潟同代で欲襲の途に限置される事となり来る十五度に派遣される事となり来る十五 経路鉄管・耐袋駅幹 | 適 項回無暗の力散、力量 | 徳 ……等調袋の後肩散ー | 征

通のきかぬことは書からであるが一般版である、ツーリストピュロー がは浦屋郷田とあるのをシベリア 歌行の國際 から満洲里の道をとつた為め抑智 貪慾な家主 家賃値下を中止 叫びが下火になったのを幸ひ

つてゐるが大部分まだ就職未定で 日間に重り無限方成へ脈敷行軍をては來る十二日より十五日まで四 古家選手お日出度 守備隊の耐寒行軍

常に

新柄

機として之と呼應して何事か全て で変奏特電九日数】在掃鮮人の各 Ø 〇二通部監市連大 何 邊 信 市 連 大 店 店商松島局藥橋本日

何事か陰謀 鮮内へ視察員



キッコータッ 大連市伊勢町大連市伊勢町

良い醤油は……

各地 監 長島川名産 巻 名産 煮 菊島姥焼切<sup>8</sup>串 水<sup>産</sup> あ あさ 卷若布 貝蛤鱈もり

日本

東京風菓子謹製 田 田

産兒制限 界各國酒類 食 料 00

婦人の病は婦人の手で バジ頭痛にノーシン

7 大屋 六六話電 三連大替掘

ユル

ヤカニ

シック

ます 強の 村田東京堂

雅人形大賣出し

鈴木足法会服 

第七四

月十日又切

偏に御願い致します

早くてきれいたほう后

規約書持参致します

3

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* 盒

猩紅熱豫防の

緊縮宣傳映畵

安と

陳情することになつた 陳情することになつた

思想善導講演

東守解除に於て初年兵の数質状況 中一分離繁十七列車にて來開し開 東守解除に於て初年兵の数質状況 は 東守解除に於て初年兵の数質状況 は 東守解除に於て初年兵の数質状況 は

七十時までの間は健事館に於て無質 定式あり同十時代には小慰校の無質 定式、同十一時代より公會堂に於て 市民の奉祝會を六時代より公會堂 に於て数化戲の主催にて鵬流ある

中島屋を勝き等り駅神袋町の金を の参列と最相を指導って短動を の参列と最相を指導すべく一層多数

牧野主事出張

冒尾旭山師始め各合領語

寺內守備隊司令官

奉

戸口調査を行ふ

八日から十三日まで

瓦

店

近松會初淨瑠璃會

安住の地を求めて

終を借るが是等中國人は元來、 一般を費ひものにする批濫なのだか 物は悉く自分の倉庫に振入すると いふ悪嫌振で、軽震は北海でもと いふ悪嫌振で、軽震は北海でもと

北満蒙古を踏破して

荒野に彷徨ふ鮮人

夥しい阿片密耕支

と彼等を搾取する寄生蟲

天商職では九日午前十時より部一

自殺原因不明

成的は数百多世に上り、まずは世上・官地との他の虚けの概に追

門所、内脏等を埋り 一部膜の敷飾機関となり

石井署長被露客 新低電井長鞍緊塞署長は本月八日 ・ヤマトホテルで田代服事は十一日 官邸で何れも官民有力者を網際し 新低被露を爲すと

町の便り

条票A、B、率中A、B、 製造)地方有志、牽天道場、数

日日日と云ふい同人は死に先立つて五日日と云ふい同人は死に先立つて五日日と云ふい同人は死に先立つて五日順然常留舎を出たまゝ行方で明朝然常留舎を置して行方を捜査中しておる同人の家庭にも何等捜査中した事情もなく全くこの死域常局は心痛して大方に手を表して行方を捜査中してある同人の家庭にも何等捜査中してある。

開

原

紀元節拜賀式

て開催されたが参加チームは左の七日午前九時から奉天署道場に於

奉天武道大會、議議本社を奉天に移轉の件

秩父宮さま奉迎

官民合同の打合せ合

7 率天地方委員会では八日午後一時から観波会を開き油田強産局長の 東京を観舎に陳情事項につき打合 せをなす處あったが左の如く決定 し四時実財舎した 本年一月から二月までの傳染病 痢一、テプス五、猩紅熱一二 数は左の通りである 朝鮮忠清南道生れ全荷龍(二六)は 科學時報南滿支社特派記者と詐稱 し率天、安東、緩慢、開原等に於 取せることが判明し七日率天西格 取せることが判明し七日率天西格

容天高等女學校では天日午前十時 徒の氷滑大會を催し午後一時頃閉

までの間に卓上電話器一個價格五|模様である 

では場では、 ないまだ窓場の設置なき鳥め を感ずるので今回有志協 がまだ窓場の設置なき鳥め での上之が建設方満線に試験する 直に引上げ入庫した 直に引上げ入庫したが損害なく

上村氏講演會

**郷に於て無費式及び祝費館を舉行来る十一日の紀元節に際し左記時** 

本 記音楽會 教化聯盟主催で教化聯盟主催で表に民衆的にし國家の最 店 

普蘭

から小腹梭睛常に必ずると共に一頭 と管ふ戦官の下に十一 のと管ふ戦官の下に十一

端旦日 文藝



映画説明者は時代の要求せる郷術 を受ける。本意・映画説明書と はれた時代と違ひ現今はずつと高 大家が難伝を以て親明に書述した はれた時代と違ひ現今はずつと高 大家が難伝を以て親明に書述した の東京市四谷區本村町三 東洋 中、土田 田 田 連門 10 一段東京市四谷區本村町三 東 10 で自宅に居存ら鑑な歴書で を要するので自宅に居存ら鑑な歴書で を要するので自宅に居存ら鑑な歴書で を要するので自宅に居存ら鑑な歴書で を要する。 ●東京市四谷區本村町三 東 10 大家が難伝を以て発売した を要する。

●日本唯一映畫說明著**奏成**所!

なほ

張りつめた胸の思な目は 無順 古 地河口 次 1,

は 大人は鳥人と並び、綾子は藤田 は 大人は鳥人と並び、綾子は藤田は、いつもこの鰯に巻ふたび に宝野を悩まされるエリオトロー で頭い番りに打たれた。 一のグラスに血のやうなボートワイー結った赤い襟の小間使はめいく

豆粕取引活沿 

藤田は駅つたまゝしづかに會駅 た調子で女主と客と紹介した。

及限に素晴らしく活況を呈するで 現状を維持するに於ては三月物の 現状を維持するに於ては三月物の 現状を維持するに於ては三月物の で、五角の手位をあり銀價が は一萬八千枚の手合せが出來た がのまたが出来た で、五角の手位をあり銀價が は一萬八千枚の手合せが出來た 故足立氏葬儀 改暦宴 本溪湖

大人はすこしも歌手なところは なかつたが、右手の中指に大きな なかったが、右手の中指に大きな

近松會にては七日午後七時より羽原氏でにて新年初経歴戦會を催した、語り物

本三勝中七酒屋の段三省△太功即尼が崎の段小竹△壺坂澤市内の段芳雀△日吉丸五郎助住家の段度本本加賀見山亦助住家の段。本本加賀見山亦助住家の段三木本加賀見山亦助住家の段方雀△田南人代春政岡忠麓の段

實行委員會 委員拾餘名辭任 市民大會で改選か 

遼

戦(風景)の登出門たる登記並に書 記補の登用試験は来る二十二日よ り二日間に取り各地一弾に執行す る由で鎌鱗居蔵中より志願者書記 二名書記補六名あり同日開原公會 になる。 書記補登用試驗

世代したが後代には 大連尉より監督地域内電信所主任野中養輝氏は 今回長参戦便局日本福通出張所長 に築頓八日午後十一時毅列車にて に発転したが後代には 大連尉より監 野中主任の榮轉 殖田局長

製鐵所視察

夫人はしとやかな概笑で言つた 「何もございませんけれど、お仕 をが出來ました――どうぞあちら

角、およびしても何もないでせう てなさぬことにしてある。で、折ってなさぬことにしてある。で、折っている。 腹の滅つた時刻だー

ナ二艦ばかりの日本間だった。 食堂は鮮かな線の植込に配した

ないが、ボルドオですとないが、ボルドオですと から、その でざらにあるものより 倉献のです 席でさい で

今の世の中は安全徹常な職気を持つことが何より値かの費用と短期間にて自宅職性をしめ及は、本所厳特の電熱機を以て職症と云はれば本所厳特の電熱機を以て職症と云はれば本所厳特の電熱機を以て職症と云はれば本所厳特の電熱機を以て職症と云はれば本所厳特の電熱機を以て職症と云はれば本所、婦人病、痔疾、疼痛、全身機関、など人同じく病患者の僧鍼と戦敏を受け月を相など人同じく病患者の僧鍼と戦敏を受け月を相など人同じく病患者の僧鍼と戦敏を受け月を相など人同じく病患者の僧鍼と戦敏を受け月を相など人同じく病患者の僧鍼と戦敏を受け月を相など人同じく病患者の常いない。

玉蟲色の唇(三)

ない。 「要は藤田君とはまだ生面だった」 要です。それからこの方がいつもった。 お喰をする詮三君だ」 「あ」、分配の知らせかれ?」と、今彼氏は氣感(その女の方 をしたばかりらしく、ひどく優い 他獣をして、ほんのりと螺旋を行 はせて、「居。には口が大さり大き

於莵 吉

で見る人の目に限りない那一戦を映れて見る人の目に限りない。 をが――襟や腕の腰のあたりを、 きちんと、大きくほしめたため、 で見る人の目に限りない那一戦を映れれて見る人の目に限りない。 であれる。 張り渡すテープに別離の涙のせ

日本人中の第一人者を全部開闢し、小郷生の外その道については在住のでは、「大学」といっては、「大学」といっては、「大学」といっては、「大学」という。 九戸全焼す 宿屋から發火

(38)

泉陛下に拜謁仰付かり前日の御崎を言上遊ば下と御同列にて五日午前九時五十分高輪御殿下の<br />
歩入

震した、言ふ迄を無くへの調節が及び政府の野人等は地能・莫徳悪氏が水るとの部

非常に中

動とに代数されて 入京後の製氏は浦

選出して云々してゐる外何等目新らしき理由と云ふものはない、又英 場を考証して之を欲せざる次線で 場を考証して之を欲せざる次線で 場を考証して之を欲せざる次線で 場を考証して之を欲せざる次線で はな理由の開陳は見て居らぬ様で かると云ふだけで之亦他に何等明 がは見て居らぬ様で

の は本日午前十時間會日本側は豊田 にかが却て日本は「一般で、佐藤、岩村三大佐、山口中佐、山 しと主張せるも五國の意見を一致で、佐藤、岩村三大佐、山口中佐、山 しと主張せるも五國の意見を一致で、佐藤、岩村三大佐、山口中佐、山 しと主張せるも五國の意見を一致で、佐藤、岩村三大佐、山口中佐、山 しと主張せるも五國の意見を一致の 協議したが、各國とも留保的記明 と云ふ事になった とないせるのみで輝まる處なく零時 と云ふ事になった と

候補辭退者

米國の治廢方針

漸進的に實施を必要ご認める

艦種別專門委員會

(日曜月)

内務省の調査に依れば難退者は民たが常選の見込みなきため難退すたが常選の見込みなきため難退す

供托金を突破されるで劣勢候補が十日午後登時以後は離退するが十日午後登時以後は離退するが一日子後登時以後は離退する

東北政権の

苦しい對露立場

莫徳惠氏の熱心な釋明に

南京政府も遂に譲歩

製造した。 の解決は外交内政耐方面に重 大な影響があるので、賞氏が如何 大な影響があるので、賞氏が如何 大な影響があるので、賞氏が如何 で、覚氏が如何 をといり、 をおいて入京するかに就 をおいて入京するかに就 をおいて入京するかに就 をおいて入京するかに就 をおいて入京するかに就 をおいて入京するかに就 をおいて入京するかに就 をおいて入京するかに就 をおいて入京するかに就 をおいて入京するかに就

### 割々當驚 14

日

凸版"銅版

#### 正な主張 餘裕綽々としてラグビー見物に ・飽迄進む に及ばぬ

# 財部全權決意を語る

では未ださしたる反響の遊迎を見るに至って居らぬが、右に對する 日本朝野の緊張せる窓裏及び各新 日本朝野の緊張せる窓裏及び各新 原衆電に依りなべられ来り企響方 であるが右につき城

げて進むまでの事ちや

見物に出掛けた(寫画は財部全権)

整ひ神べたる餘裕を見せラグビー た底度を示してある。 対策は既に りまで最も公平正常な主張を掲りまで最も公平正常な主張を掲した力で、 く結局離退者は五十を超へんと見らオイソレと購ずる澤にも行く く結局離退者は五十を超へんと見らオイソレと購ずる場合を られてゐる ちれてゐる

民政公認候補

一百九十八名

職は先づ吉同線路は昨春歌に測量に を希望し最近省響に省政府を を希望し最近省響に省政府を を希望し最近省響に省政府を をを記しまして、 一部吉林」

び委員會を開き之れを討議する管

甲科生人所式

こって結局モスクワを會議地と承認 にハバロフスク協定の根本的名談 にハバロフスク協定の根本的名談 とは實行心可能で談協定を基礎と とは實行心可能で談協定を基礎と

\$ 3

るべく結局管初からの航道に立聞して正式會議に入るより外はなか

露支會議の

吉林代表

太郎ちやん家も

な揃って

八日第十囘十四名を發表し

哈府協定に

對する

**녲改**訂

金

交渉はこ

政黨名併記有効

日本に勝味は充分ある

イカト

之で同驚の公認總數は二百九十八 歌族神十四名を發表した。 司司 見り 三瓜、斤)九日舜電』民政黨は八日第一新潟縣第三區 闕矢 孫(一元) 福岡縣第一區 第三區 岡野 龍一

内務省審議會で決定 川縣第一區より社民黨を標榜して 近の昼出を行った。

吉同密穆の 兩鐵敷設協議

【金澤九日發電】徳田秋愍氏は石一計鑒せる吉林より同江に至る所謂 (金澤九日發) 吉林省政府の

**徳田秋聲氏辭退** 

を覚討したる上同総数代館を覚討したる上同総数代館 「南京八日發電」半官的報

**合護に於て之に觸れず縣案とす 合護に於て之に觸れず縣案とす** 

宣傳をなさざる事を響

△第四項白系露人の武裝解除並び 力發生につき承認し 力發生につき承認し 力致生につき承認し 意識の国復を許すに當り露國を一〇第六項東三省に於ける露國商業

王席全權は

結局莫德惠氏か

交渉の歸結も哈府協定の程度

東北軍政會議

元宵節後開く

急速に實現する時は米支間に不幸な交渉事件を起す惧れあり余個人の意見では飽くまで情領事裁判権撤廢は米國政府が仮朝福と商議中であるが、此問題は其關係する虞廣汎且つ重大に『北平八日穀電』新任米國公使ジョンソン氏は八日午後灣任し左の如くステートメントを發した。 駐支新米公使の聲明 

ても今更莫氏を指いて他に適任者 

を展現我選氏が州一日私に語った所に依れば、外交部では此ば誕には 何等の回答も興へない、露安臨定 大綱中に規定した銀日協定館職の 大綱中に規定した銀日協定館職の 大綱中に規定した銀日協定館職の 決定したとの事である。

一、露支協定大綱に闘する各項 野自は次の如きものである。 其内容 野間は次の如きものである。 其内容 である。 大内容 である。 大内容 である。 大内容 である。 大内容 である。 外蒙問題

造は際在する

氏に對してなしたと同様の世央黨部の有力者達にも主 政治會議外交組委員會に出版を試み、十九日午前十一時報を試み、十九日午前十一時報ので 明を爲して、反對論の擴大 たのである。 主張を答れない際に行かなくなっ

京した。入京と同時に先づ新聞記録光を見せて翌廿七日午後九時入

治會議で默索を識し莫氏もそれ一通り責んだから、二月五日の

氏は蔣運に於て善議に於て善

る模様である。

は未だその全職委員でち低命して を開く旨規定して居るが、支那(職)

相當困難と思はる、余は事務引繼ぎ後南京に行き米支驅案解決を贈る頼りである。現る角本件の解 省の立場」を説き、潜くが

領日來滿各地來往中の總 (一种) 同上 (一种) 同上 (一种) 同上 (一种) 同上 (一种) 同上



#### 曜 御旗 開

たしか伊吹、利根などの四隻であります。そのとき日本 して選張ってゐたのでありました して選張ってゐたのでありました

などはガラあきの無防

票状態であ

電布告で

**贝保田寫** 

日本内地では「脏日」などといってお日出度い祭日のときに掲げるやうに、関係といふもの、観念が突然でないやうでありますが、が突然でないやうでありますが、が突然でないやうでありますが、かれるといいのでは、かれる の生命財産が確保されてゐるといったります。昨年、北隣に歸支のであります。昨年、北隣に歸支の 雅り日本人同胞はかりではなかったのであります。
新人、蒙古人、ブリアート人、中郷な人も赤深の露人も、恐く安全、地帯として「日草族」の傘下に戦

整施な思いの情勢を強出したと を施たる混乱の情勢を強出したと を施たる混乱の情勢を強出したと 中間に有り難いものであつたかは 中間に有り難いものであつたかは 中間に有り難いものであったかは 中間に有り難いものであったかは を表す。この「日章版」の保護下に 中間である。 さすがの海軍國イギリスも一隻の活動してゐる最中でありましたが がの汽船でジャワからシンド いっぱい はいかい かんしょう いっぱい からシン 別のでありました。記者はオラントのでありました。記者はオラント大正三年の

し得なかつたのでありました。 わが同胞の發展するところ。世

青天白日滿地紅旗といふ風に、そは黄龍旗から五色旗、五色旗から 御熊」が保護して下さるのであり、果の隅をまでも、この「日の丸の

以前も以前、皆ながらの「日の丸」のが明治三年一月二十七日の太政的の國際提的の觀念が發展しない。分の一だけ片簪せること、といふ的の國際提的の觀念が發展しない。分の一だけ片簪せること、といふれからそれへと變るのでなく、萬一に難し鞭は二、一の轄合、日の丸れからそれへと變るのでなく、萬一に難し鞭は二、一の轄合、日の丸

様は、心臓い限りで、何とも形容 四歳の帝國軍艦旗が飜へつてゐる の葉を煽って吹く黙密の凉風に、加子

の中心は彼の中心から等の方へ百 に就し続は二、一の割合、日の丸 ところが、この日本國家、國際によって、その正確な方式などがいふので、その正確な方式などがいかので、その正確な方式などが一般國民の腦梗にハッキリと記憶をあるのは遺憾であります。簡単に「日の丸」と申しります。簡単に「日の丸」と申しります。 ましても、確然たる一定の方

はれます。

ち御庭の職職は過去から勝寒に、 時代に順應して、その色を變へねず、白くしたりがくしたり、単十 ばならぬやうなものではないので しかも日に日に新しいのでありま と、日出より日突まで振歩すること、日出より日突まで振歩すること、形成はどうするとか、きちんと極つてもるのでありますと、態際問題として色々なりますと、態際問題として色々なりますと、態際問題として色々 して置くことが肝要であらうと思いの丸の御腰」の概念を変象するところの「日戦の帝國を表象するところの「日戦の帝國を変数に数さ と、日出より日没まで撮影すれから関係は撃頭と間をあけれから関係は撃頭と間をあけれる のまして、われく (は日本帝國の りまして、われく (は日本帝國の 明後日は紀元郎、この佳節に當

鑑賞しやうではありませんか (一震戦)とる「日草城」の有り難さをりまして、われーとは日本帝國の

に本天特電九日報」 宮支正式会議 は、総成近くモスクワに開館され ることになつたので吉林の張作相 とする意思があったが、鎌氏は へ とする意思があったが、 鎌氏は へ がロフスク 御節協定失戦の非難を 一身に弱受けてある 蔡運州氏に 数: た所五日談李戦舎の永職を得たと を受賞館に李氏の任命方を要求し を受賞館に李氏の任命方を要求し を受賞館に李氏の任命方を要求し を受賞館に李氏の任命方を要求し



**育內省御用鐵** 第子醬油株式會社

『奉天特電九日報』本月十日召集 であった東北四省の職政大館 であった東北四省の職政大館 であった東北四省の職政大館 でが多いので、早くとも元幣節 でが多いので、早くとも元幣節



▲高崎弓彦男(貴族院議員) 九日 本高崎弓彦男(黄族院議員) 九日 本兵部潤二氏(陸軍省郷理局主計 課長)同上 課長)同上

べき成績である が退いて悲しむ 變な成績である

**臺海泉越中側りあ子所る十種と「盛郷いしる意」** 

十年振りで満洲に來たんだよ、 長二等主間置矢部側二氏を尋ねる 更にサロソに陸軍省經理局主計隊。

提として當

調査時間は午前八

高速車の交通量を統計的に調査す 車、サイドカー、オートバイ等の 車、サイドカー、オートバイ等の 場車、荷馬車等の緩行車及び自動

中最も交通繁き所に立たせて歩行

大連劇場前、緑温泉前・伊

七將

軍上海へ

消組對策協議

けふ人目を避けて

奇特な支那人

七將軍は船雪深く姿をかくし人目

のと判明したが氣持の好い支那人市内敷場町五 特別したが重ちにて十圓紙幣三枚 時間の結果落し主は市内敷場町五 時二州井洋行方武田圏の窓したも 時二大が電井の野い支那人市内敷場町五 大、手配の結果落し主は市内敷場町五 大、手配の結果落し主は市内敷場町五 大、手配の結果落しまは市内敷場町五 大・手配の結果落しまは市内敷場町五

こほりに

質地に見聞

諸問題を

(日曜月)

何等關係はなく御

大分變つ て

と對し邦人が と対し邦人が

総選擧の

結果は

無論與黨が勝だ

弓彦氏語る

例の〇〇事件の話だよ

掛りの交通量調査

将來の交通取締計畫樹立のため

あす交通訓練デーに

重大用件はな

が探客技能を選挙で、氏 時節柄の 深瀬は和常注目されてゐたとの 深瀬は和常注目されてゐたとの 来瀬は和常注目されてゐたと

ありません、只三週間も大袈裟に云はれありませんよ、あたかながながった。

(=)

長と云つた賑やかな欝鯛れや話題を補職して午前九時港外についたが、丁度日曜日六十四人の岩心塗さては公用私用を帶びて儲省中だつた知名士、陸軍職では主獣戦九日入港のはるびん丸、内地の政殿の模様や満洲繁官を凝んで採用試験にパスした にあたつたので出迎へ人も頗る多く久方ぶりで「定期船入港」の情景を現出した

告發さる

勇士を弔ひ

を如質に示めして一

芦澤拓務省技師談 に就いて見て來たいと思つて來たが、陸軍の方でも後草陽係となってはならぬから竹郎感で、中ンドンの海軍を縮明を表情で、一次の他で充分調査する必要がある。

選舉法違反で

第二區有職者八百五十名を去る一の影會解散に先立ち選零區神奈川の影會解散に先立ち選零區神奈川

満廿五年の陸軍記念日の行事

上を期す

きのふ軍

司令部發表

型、記念日行事實施の際は の融和に努め特に傷柄兵 歿者の遺族、從軍將卒及 務者從軍記者同布教師の 常意すること

い際は日支人 関病兵、職病

せしむる等遺漏なきを期する充常し要すれば講話案を提出充常し要すれば講話案を提出

講演者派遣範閣を概ね左の

習記念講演會活動寫眞の映

門の祭典の祭行

項の實施

言官の練習生

小阪警部等に引率されて

六十四名が着連

行事は各駐屯地毎に 信宣傳の實施特に新聞社事

事業の 壁間並に 援助に で主催せしめ 又部外主 の如きは成る可く 部外 行事の歯

遣に関しては左の如

込に題

修繕料

二割方値下

即日二十三列車で急行し、一部一次で、一名を逮捕七日朝 REVOIL

0

祉式

差押吏を 包圍暴行 多數の鮮人が

の王者・モガの大統領・日活の田吐夢監督・日活の田吐夢監督

封切公明十日 封切公開

井町大連製肉所

黄烯々寸禁止

國產品牝

フェルト

電話五七七六番

→鐵橋鐵桁、鐵骨家屋、豆油容器、暖爐類本 店 大連市池

品

山縣通百四十九番地 チ和製品 各 舶來品

ヱル 號 三號

ルーフヰング 半號 一號 二號 三號

連機械製作所 三十二(代表共通帯戦 九一五三世 大連市沙河口臺山町

**丁** 日 ◆付、鑄鐵管、鑄鋼、鑄鐵並真鍮鑄物、酸素瓦斯

零天西塔大街三丁目

るというというというというというと 理

ます

お待棄ねの連鎖商店の支那料 

ーテーブル位の小、中宴 | 自向食堂でございます。 まずい休憩室はキットないます。 トブル位の小、中宴 | でございます。 トガル位の小、中宴 | でございます。

銀座通榮町角連鎖 商店街

アルフトの日本のアルドラフトラスの日本のでは、

大連紀伊町二〇

商

バージニア・リ 高き

CICARETTES 黒猫印赤鑵入細卷コルクロ付 クレーブン。エ 發 賣 元 大連紀

VIRCINIA

力も經て

極めて質めてるた

CORK

三輪市太郎氏死去

外體が漂着

秋大演習中に墜落した

佐々木飛行少佐

【名古屋九日發電】愛知縣第三區 整中の處八日午後七時逝去した享 整中の處八日午後七時逝去した享 一年六十四歲、氏は明治四十五年代 年六十四歲、氏は明治四十五年代

童

用

歴授に関まされて接続を流じ選乳・ ●第二組常盤十五十十一大度場 ●第二組常盤十五十十一大度場 ●第二組常盤十五十十一大度場 ●第二組常盤十五十十一大度場 ●第二組では十九十二大連商業

まり三階で 台

附属品等各種豊富に取揃へ最も安價に提供。 御進物として好適の組合 ・雛人形陳列會三階にて んの御入學に必 世文房具各種取揃へ。

車の禁酒號

高砂雷の例書 高砂會にては十一日正午より大連市社會館では十一日正午より大連市社會館手、雲林院、海土、朝長、輝生門

先生たちの

安藤技師も一日

待避驛に立往生

國境勞農官憲の無謀

草球試入

職員の

「ハルビン特≪八日級」「解八十六」「験具を提供され感謝しつ」「八日 「深趣味で下車せしめられた古浦電」南下臨國したがシベリア鍛道は「深趣味で下車せしめられた古浦電」南下臨國したがシベリア鍛道は「水で になったと語

AAAAA AAAAA

學校、女學校、小學校等各校制服、制帽、並に服飾品 …二月十日より二階にて

名を喰かに止めてある「赤輪」なども場近ソノアート社のトオキイに返り吹きの壁を立て「電話のイに返り吹きの壁を立て「電話のイに返り吹きの壁を立て「電話のボー、ガバーと共に最近復活したが、カバーと共に最近復活した。過る年末栄勢したムンローソ

を、たよりにお低も岸へあがつ無難作にのばしてくれた左近の

を偲ぶのみの早川雲洲その人も、へ来るとか来ないとか懸がれてるへ来るとか来ないとか懸がれてる

にムンローツ

八日より更に飛躍映 全部精神異常 全部精神異常

光飲子主次

育高 藤 達 維 稔

れたまとで気の毒だが、吐ぬ

くに共に支柱は小れ、それに代って二つ折の屋形が吊上る。野にはて二つ折の屋形が吊上る。野にはて二つ折の屋形が吊上る。野にはてこつ折の屋形が吊上る。野にはている木川へそれると、萬年概をよったとつつきの右河岸へビターと繋がよこづかる。 すぐ眼の前には新大郷が脂を過すく眼の前には新大郷が脂を過います。その手が松平瀬江守ト屋敷の土塚、く前が松平瀬江守ト屋敷の土塚、く 日帆はスパーとおり、船線を叩ったはやく三蔵帆網をたぐれば、 「三臓、動岸へつけろ」 三臓は水棒とつてググウと石塩を

船はグルリと随つて、野岸へ…

こえ

在り

し日の榮華は何處

オキ

が造つた

ゆきつ戻りつするらしい標識ったてえずこの様を膨めてゐたが、たてえずこの様を膨めてゐたが、たてえずこの様を膨めてゐたが、

カ にもまれて早くも悲鳴を響けた雷 ラギオピクチュア社の「ストリーか 時代の医療く、その難やかな作日 を見せてあるペテイ、カンアスンた に較べて最も落るしい際落の影を ト、ガール」で返り吹きの力強さ 見せたものはなんと云つてもスター を見せてあるペテイ、カンアスンに 時代の色療く、その難やかな作日 を見せてあるペテイ、カンアスンに 時代の色療と、その難やかな作日 を見せてあるペテイ、カンアスンた が、曾たとつて最も恐るべき際の さてはカーメル、マイアースなど 時代の力とはいへもの、哀れを終 ウイルソンやジャックマルホール 大 が、曾てはスクリーンに世界の さてはカーメル、マイアースなど 中 ではかりとはいへもの、哀れを終 と暇されてゐるのか、最近肥りすぎた 人々が驚くこれに轄つて來たのは 名を腔るものか、最近肥りすぎた と暇されてゐるクララ、ボウなど 神 の 視聴をあつめたスターのうちで ニングスの歸國はすでに古いる は かわからぬ運命は持つてゐる。ヤ 世 かわからぬ 人々が、再びトオキイのマイクロ も、坊成り名をげて映画生活から まつたもの、果敢ない人気の感致。 に災されて名も忘れられたやらな

を熟狂せしめた戦も、十年餘を経を熟狂せしめた戦も、十年餘を経 新らしい時代の新らしいもの」 ある。これらの人々にとつてあり ある。これらの人々にとつてあり し日の築業はあまりにも淋しい夢。 にすぎないとしたらスターの生命も悲しい瞬間のさなめきに渦ぎない

ふやらな趣り合せになった人も、フオンの前に立つやらになると

六日ですの陣本立の

簡便なる

#造-計算-鑑定 宗像建築事務所 HB-1宗像主一

かいこと、親よいこと大法

気だしべら 0 若狹屋質店 地名 医 金融機關 は特に個相談致し
不用品・愛知の場合 弊店の特色 貸出勉强

方稳

春頭店にあり

炎菌菌精攝淋念 適應 ・に外炎腺性尿道 膀よ外炎腺腫性尿道 炎尿病他及胱淋 に道原淋び炎疾

野地へ送料十八台。代金引装 一二七

四十五錢

帳 耳 咽

BK

電話六四六六番 。一四五品金 澤 察察 室室

夜書開 六二時 時 中半

ワキ町

推出 新 前 後 を関の復讐史の幕は切て落される 文明の復讐史の幕は切て落される 文明の復讐史の幕は切て落される 変明の名篇 一直 侍と 河 內 山 新作 直 侍と 河 內 山

映畵界東西

男岩 診診

大連市三河町十八

から起る 浪 L.

市キネ味横溢の田園哀話 一部ので来た兄 一部では、 一では、 一で

●団技福持器の方に限る ・団技福持器の方に限る ・団技福持器の方に限る 下一十錢幣得

・日活

內田吐夢監督現代海洋大舌

III W

會は茲に破天

の番組をなす

0

王者·

ガ

0

大統

領

紀期

(可認物運兩層巴索)

ては、いつ再び逢へるか知れなか

の「職役船」と歌木の「非常観汰」歌木 り、東迎キネマの「ラッシュ・アワー」 日活の「女」河合の「女」等数と しても随分あるが松竹が製作して

塚龜太郎畵

るる「雅戦」に難して東亜の急権 都會に於いてはそう内容の速ふ同 都會に於いてはそう内容の速ふ同 をなと確当いもので盛んに上映されて映響と現出してゐる、松竹 が大當りを取つてゐる「母」が上 の「非常響感」が上映されると聞くと直ちに富士キネ マの「母」をもつて難酸し、日活 の「非常響感」が上映されると聞い 来の「那響感動」が上映されると聞い との電路んに対域と直ちに富士キネ での「母」をもつて難酸し、日活 を使ふと響うた に行はれてゐる

が、左近はふりかへりもした

一日:十二日

13

生殖器

言外の强味

切 麗瀬恒美雄 瀧花久子、田村邦男 ラ

解說

彩美\*

白藤愛光

觊解

高岡笑始

船の活躍!血湧き肉

助演

クラ、が全身の媚態を書 ラ・ボウ 5

相良健 ジャズの風景

店商吉友澤藤 二町修道阪大 供提品賣特 同 が本 一上市 同 が本 野大師・代金引替サス酸 一上表紙 四打張 四 二打匹。四 打張 四 九十

製 一個即門

閪 順 漏

百 五 用心ぶかげに見すましたのち、低が、左近は微然と、そのま、隙をみに、おせんは心をときめかした 思はずふれあふたその掌のぬく はあるが力づよい間で、

歌いたすな、爆魔室へりださし しつかと握らされた。 しつかと握らされた。 しつかと握らされた。 勝を飲つてゐた人影へよびかける この尼僧を選草門跡まで送り居 しらどんの線をかこんで、茶椒 、それまではさつきそなたが、 とれまではさつきそなたが、 郷籠屋への手當はこ

を信じて居らうよ」

地方で喧嘩する

た。それだけにお仙の態心はいよい 電影響

た 智麗は地をはなれて飛ぶっと 「麒麟がやないよ、御門跡へかっと 「麒麟がやないよ、御門跡へかった。 お仙は左近の姿をなつかしげに 想ひ据き乍ら 「あのお武家も、只者ちやアない

トオキイのほめかどうかワ 

たのち

切られ與三玄 团 RB

志賀靖郎街 治店

大連市吉野町 性病機 野中醫

**孫讚歌院** 

かぜとねつには がの即の 即リカル

ハカリ中のヘブリン丸こそ頃のかぜ薬であります。 智順を害せず、心臓を保護し、頭痛を鎖め、外の胃腸を害せず、心臓を保護し、頭痛を鎖め、外のかぜの薬なら何でもよいと思つてはなりません、

のかぜ薬であります

学分分分分 壹 五 一 回 錢 三十錢

受験準備對於經驗 

風を引くなど 母は、 手紙に添

ヘブ y

世十五三 田田田田

9674

しよう。あるそうだ!、私の職な私の誕生日にも井出さんをお呼び

になって上げやう。そしてあすの

も非出さんに殴って貰ったちどん

和子さんの誕生日

(E)

懸賞童話 選外佳作

「赤い帽子を冠った老人」

レンブラント第

かありません。

短詩(懸賞三等)

春

新しい年のしあはせを

永生さい ふことば

かをふれやうとちかづけて

2

大平元子

窄はもうあひに來てゐるのぞと、 
ない歌のやうだけど

母になって

永生といふことば

はじめてわかった

わたしたちの

まぶたを落してごらんな

i.

3

戒報」とに就いて

と『暴風警

離は「惜しさで一杯になるのだつであるのがこのおしげです。 ただそれが母でなくして、妻

て、おしげの身間に関れもしないた、おしげの身間に関れるしない 小説の一番はじめにそうありま それは、夫への最初の情報であ

ったし

た。彼女の胸が口惜しさで一杯になるのはそのためなのです。 大第に、社會主義を感じはじめた。 そして彼女は夫への愛情を通じて をして彼女は夫への愛情を通じて かし、そこに、四月、おしげには不満だ 思ふに、實際的な基礎を持つて であり得ませう。本を讀む、實際的な基礎を持つて であり得ませう。本を讀む、實驗 であり得ませる。本を讀む、實驗 であり得ませる。本を讀む、實驗 であいるのでれるとそ

の「頭の檢學」が行はれたので

な 私達は楓まねばなりません。 小林の「黒風歌波器」は一風襲 はればれずの我に言はすれば、それは相當の頭のある人に、懦勢を はるみ込ませるために書かれた、い で おみ込ませるために書かれた、い

要 この小説の終りは斯ら記ばれてゐると、 に加はるやらになります。 で れた夫のあと、自分塗の低砂、結底、 と れた夫のあと、自分塗の低砂、結底、 と れた夫のあと、自分で立つて仏事 この小説の終りは斯ら記ばれてゐるます。 に加はるやらになります。そして 要な地磁に、堕落しやうとしてる 豊き出した。 豊き出した。 おしげは、夫へ焼て手紙を 

「四人の惡魔」評

してゐたに相違なからうが、そしてその幾十人のサーカス歐幾百人のそれの中からたつた幾人かの者が幸職な壁の下に選ばれてゐたのであるが、幸ひに鑑成の得成上原 雪をなら、ほう ねんね

冬の 大石橋

謡

新島藤一

うしなければ映識にならないと諸 職な名骸を擅にしてゐたのだ(そ 歌魔」は數長老道化役者の下に幸。 あかんちょこべし まあるいおかを チッほつべたを

を見た者が幾人あつたらうか。 を設定はがいチャールスの整膜な を設定はがいチャールスの整膜な を設定はなく、搾取者監練提 えてゐるだらう、そこでは悪監練 ないませールスの整膜な を認定はなく、搾取者監練提 の社會的意識も分り、以て映路による人生批判、社會批判を徹底的 

日を重ね野脱の響も絶え絶えにこの関原に春は來向ふ 月例會詠草 干草

此の雲はいつか見た雲 しい優しい淋しい思ひ出の めあ、そうだよ

た。それから二人の間にどんな約束が出來たか、間もなく解臭く朦 を並べた二人の姿は、足どりも軽 和子さんは急に元級になって大 書びで井出さんを迎へました。け 書びで井出さんを迎へました。け 書びで井出さんを担ると、 敷がすぼらしい井出さんを見ると、 敷が あららが其の関係は消滅するものと、 物取者の関係が見られる。 脚長が悪漢であららが、 善人で あいまの関係が見られる。 田さんの手品と暖々に消みました。 次が材井さんのオルガン 次が寺

んだの?」と村井さんは暦年をし かめて云ひました。 さんのハーモニカの撮影から端ますの様やでした。最初は先づ本田田の様やでした。最初は先づ本田 子さんが立上ると井出さんも前を は、うか、米れた様な顔をして中には うか、米れた様な顔をして中には りか、米れた様な顔をして中には で 「ハーイ御覧の通り失くなりー」 をった館の白鯛が落ちて来たので なった館の白鯛が落ちて来たので が利子さんの策略舞踊でした。最

をよい日曜日でした。和子さんの家 ちぞくくくと遊びに来ました。 和子さんの弟も飛出して来てピ りして此處ばかりはお正月が再び りして此處ばかりはお正月が再び りました。其内にお饗近くなって が 前の日に和子さんを観光をした。 りました。其内にお饗近で来ました。 りました。其内にお饗近でなってピ はさんが、おづくと遊びに来ま

忘れて了った程をればすがの人達はうつとりとして樹

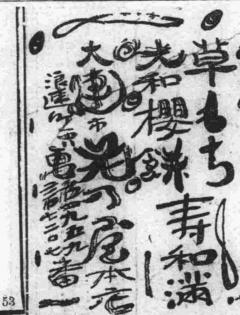
守郷を入れてくしや! へにまるめ に夜汽車の笛を訳しみにけり 島やみて小夜ふくる街のしづもり の離は家より出さず

ちつそみ早く疲れそめつる。 文藝消息

岳 娛樂の設備あり 満洲唯一の温泉場

大連市西廣場西入る電車通 池田小兒科灣醫院







限り無き魅力を加へる時

――店会吉政保久 値4ナテラ

「ウテナ」召しませ君よ

『ウテナ」正備一層、二層、三層ー

されば君よ

色白く美しく

なる

更に新しいあかりをつけやら 即大 乳兒榮養料 牛乳築養の必需品! にするものです をお育ての時この弦養癖

〇牛乳やコナミルタでお見機 〇大印滋養糖は牛乳の成分を ◇能 明 香 贈 星 ◇ 製店食料品店にて観安 入れて無へられゝは榮養不 既全な研究を強けられます 長や問題形にかりる優なく 州光して母乳と同じ榮盛價 大阪市東国府外太郎町九東京市路(開降の大郎町九

春先には雪印(紫鵬) アレ止に月印(性酸) 売店大百貨店にあります。 (粉雑し) 夜間やすむ

日本の北方の都會での事情の變遷しる、それは小説のあやでせらっしる。それは小説のあやでせらっしる。それは小説のあやでせらっ ここに出て來る人物は、傀儡でし のうちに、困難な下牛期が語ら の事實を以てして、この作品の持 の事實を以てして、この作品の持 向ふには赤い庭、それは悪風の には赤い庭、それは悪風の を合うしを付ければ、それは悪風の は流電です、陰温ですの強りに、こ は流電です、陰温ですの強りに、こ は流電です、陰温ですの強りに、こ は流電です、陰温ですの強りに、こ は流電です、陰温ですの強りに、こ は流電です、陰温ですの強りに、こ は流電です、陰温ですの時日の指 は流電です、陰温です。明日も風 した問題を、私達にさし示したそいと思ひます。――だから、こう きか?このことをよく者 られひいかげあり 子等とゐて

を私は信じてベンを捌きます。 明と、そしてあなたの正義を求 五色の悲しき複木

またつみはじむ 子のこゝろ 積木ひらいて いつしんに 散らばれる

容はかるい素足でしのびよりあなたのしらないまに

いたりやねるのやわらか

さで

ならかいこの言葉よ

ある母になって

春はもちあひに來てるの 窓なし部屋のやうだけど

がきものよ

とほいところから

ゆびをくんでごらんなさ

でないのだ、若し地評家、観客に して其例證を見聞したい時は商店 になしの劈働時間、年期率公に依 がはすべて現實計會の同境認要せら がはすべて現實計會の同境認要せら がはすべて現實計會の同境適の者 の上にも汲あつて然るべく、題楽 の上にも汲あつて然るべく、題楽 の上にも汲あつて然るべく、題楽 の上にも返あって然るべく、題楽 ある」と真面目に言へるし、映画を向けてい、響だと思ふ。斯言しを向けてい、響だと思ふ。斯言しを向けてい、響だと思ふ。斯言し を向けてい 

つてゐる 勿論映態の上に露骨に出てゐる が論映態の上に露骨に出てゐる くさい動善懲思主義に到達する危 しない動・意思主義に到達する危 心はせちに客を待つかな八木沼丈夫

斯うして比較的優秀な映画が其の自由を失つて顕露の中で楽播き合はなければならないのは種々な母曲がある。主に生々とした社會現象の描寫の自由が確はれた種々現象の描寫の自由が確はれた種々 故事件の進展の原動力として、の野立を作らなければなれ、の野立を作らなければなれ、の野立を作らなければなれ、の野立を作らなければなれ、の野立を作らなければなれ、の野立を作らなければなれば、の野立を作らなければない。 故事件の進展の原動力として、人いと限定した事象しか演せられないて限定した事象しか演せられない。 雪捲きて風吹き立てり坂下道あが 目づから湧き出る涙のすべもなし

題であり、善である、 これを驚艷迷的に見れば人間は情より生れるからである。 原動力であり推進力で、随つて社會關係こそ 具の環境諸條件に 八になる 部屋中に射すや日光のほのぬくみ 部屋中に射すや日光のほのぬくみ 宮土ふさ江 く別るる人を惜めり 笑みて別れを告げんと思へど 流

風邪ひきこもる日の多かりき かであぐる壁の根いたしこの多は かりき のおぼろの月光に似て ネひなたの風ははや春らしき ・ 表野 親 関人の疲れしまなこぞ好ましき春 定

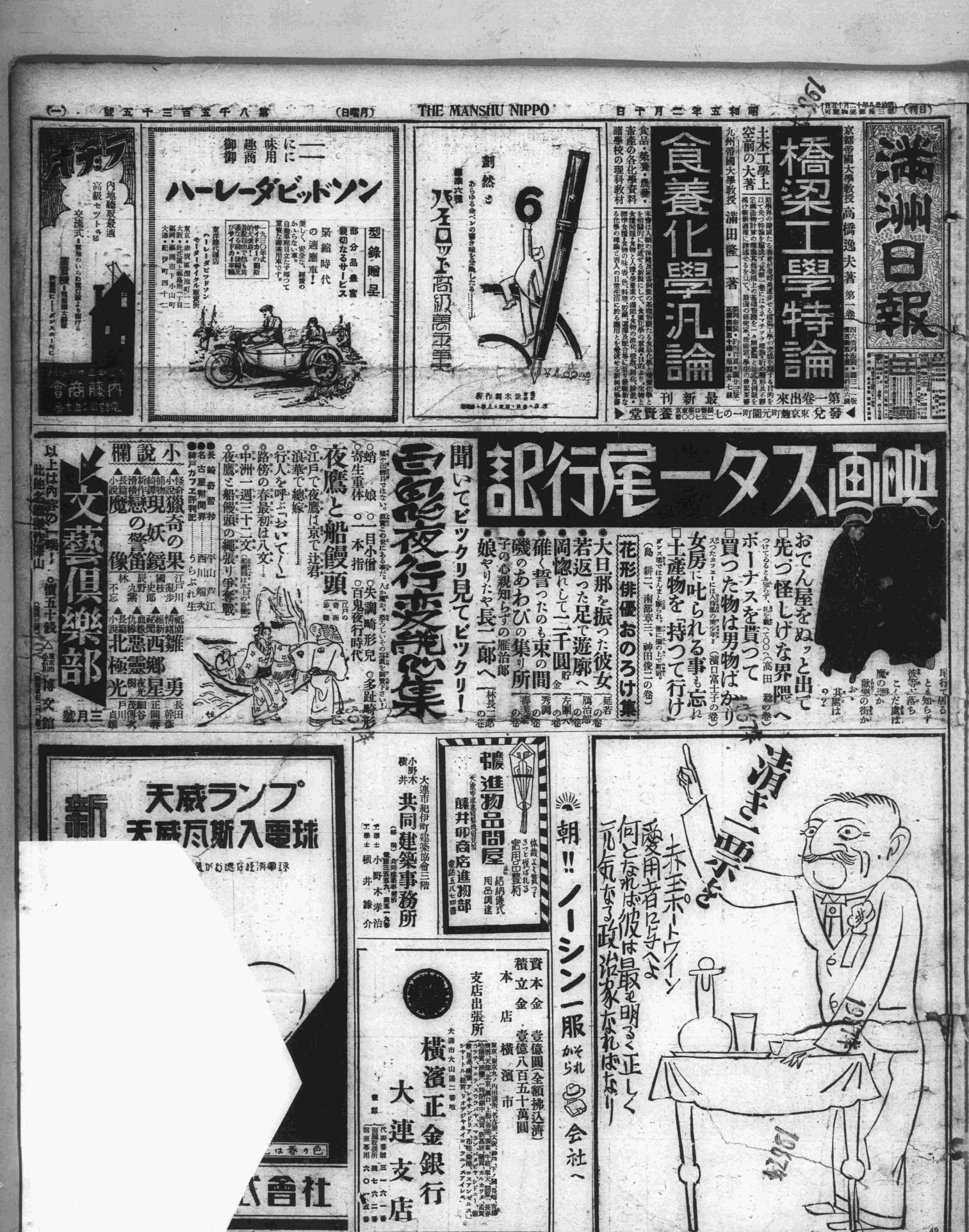
くだちにきく木枯の音

日に受り思ふことなし労働の疲れに聴きため影を吐く な悪熱おぼへていねられずかも な悪鶫おぼへていねられずかも がした。 襲返りしては思ひまざらす。

識が其

色白く

專賣特許



## 英米勢力均勢に闘する

南京政府の干渉を排して

現地盤確保のため

策民氏の

地位も危し

許すとしたならば 能の鍛道敷設備を許可す を云ふにある、期ち張作相氏は右 と云ふにある、期ち張作相氏は右 と云ふにある、期ち張作相氏は右 を可能とする南京政府の機端な が変排して現有地鍵を確保せ スペルピン八日愛電」東方面消息 れる電支倉職を突き放し極力を 張作相は露國外交全権シャノフス の配管を促す根本方針であると 張作相は露國外交全権シャノフス の配管を促す根本方針であると

具體策を捌つるを内外當別職時の水陰交通の確保が實現を期すで記諸項を提りを開すが實現を期す

れる響である

參謀總長後任

ぶ編成に着手 の明年度豫算案

に加へられる管で之と同時に商工課の新設なども見るべく、案は二十三、四日頃から登事館に附置さする事になつた、大陸は石を前市長の方針を踏動すべく、観賣市場問題及び標生設備なども新規事業市會で後任市長も決定したので、新市長となるべき現田中民政署長の方針に基き十日から編成に牽手・市會で後任市長も決定したので、新市長となるべき現田中民政署長の方針に基き十日から編成に牽手・大連市役所の昭和五年度豫纂は市會の紛擾、石本市長の離伝等で未だ齎手してゐなかつたが、過穀の大連市役所の昭和五年度豫纂は市會の紛擾、石本市長の離伝等で未だ齎手してゐなかつたが、過穀の 前市長の方針を踏襲和規事業は卸市場や衞生設備

たため満洲里域境間近の八十六待 の査證に行路が選ぶと云ふ監で下 車せしめられ野原の一軒家に等し い小牌で三日も四日も立往生をさ

と帯水留三郎の名が出現◇ なる (な) 東京 (な) 東 # 長戦をしこきながらおりから降り しきる吹雪をおかして酸地に切り 込んで行きな場にと跨がつてひげの り ひんで行きないらよりから降り 職大臣すつかり「ウェヘッツ」と「あの職後江」と調子の社をゆるめて「あの職後江」と調子のけたので」 い世の中でがす」 上 屋は最上等のところへ案内して吳上 屋は最上等のところへ案内して吳 東北地方遊覧の町田農相は七日河 製物内すると農相先手を打つて掘り 大田生地職島縣三黎町に遊 場内すると農相先手を打つて掘り で変換すると農相先手を打つて掘り で「本りました」はお気の

らぬからだ」

態数点御路

北海道で中西六三郎氏、愛知で三統領東が減壊で心臓嫌率で観光、空間に、神衣いで死去し、空間を攻候補の運動はで心臓嫌率で観光。

をころ、荒畑君は無電繁を神場形を2 関て八日秋山常新判事に陳野した ところ、荒畑君は無電繁中・陳野した

利用して禁酒送来の愛放を各族部 に求めついあるは火事がの要なを各族部 に求めついあるは火事がのを各族部 に求めついあるは火事がのやりか

決 、露鎖に於ける邦人漁菜の確保 のため政府、営業者が積極的施 のため政府、営業者が積極的施

道の速成を要望す

ない。 ないではれて、 はせて、井戸水を共同では、 が減壁で猛烈にかみ合い。 が減壁で猛烈にかみ合い。 が減壁で猛烈にかみ合い。 が減壁で猛烈にかみ合い。 が減速でなど、 が減速でなど、 が減速でなど、 が減速でなど、 が減速でなど、 が減速でなど、 が減速でなど、 が減速でなど、 がある。 かる。 ののでは、 がある。 ののでは、 がある。 ののでは、 のの

外排貨につき撤底的

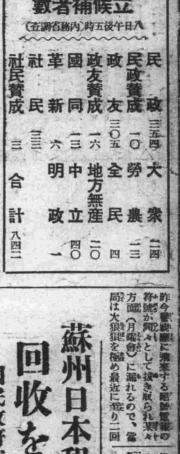
が漸進的解決に進

を がすっ演説の手振り身振り がすっ切無言作懐者が原 がすっ切無言作懐者が原 がすっ切無言作懐者が原 大阪三區の高架候補、漁界 郷里山口縣に部叢中中山太一氏佐々木蒙古王先頃來中風能のた

被大臣独口澳之助閣下を御紹介し 起の難はマネキンと見えますか」 一聴紫すかさず「七面鳥に見えま 蔵大臣濱口郷之助閣下を御 

戦し警官の限にとま 燥せる凍傷

內科專門



蘇州日本租界

を取りに を取りに を取り を変われた。 をでるななな。 をでるなな。 をでるなな。 をでるなな。 をでるなな。 をでるな。 をでるなな。 をでるなな。 をでるなな。 をでるなな。 をでるなな。 をでるなな。 をでるなな。 をでる。 をでる。 をでる。 をでる。 をでるなな。 をでるななな。 をでるなな。 をでるなななな。 をでるなな。 をでるな。 をなななな。 をななななな。 をななななな。 をなななな。 をなななな。 をなななな。 をなななな。

回收を企つ

國民政府が調査に着手

等「薬學校卒業者加三同等」」上 科「學年」、高學學校良等基礎科 一本・建築・機・機・電電

村明配ノ上事務所へ照會ノ京な神科部科学、一二二事を改治和済計学、一二二事を

本・建築・機械・電気

社

脚)の回覧方につき協議したが、 何等具鑑索を得るに至らず今後は 一選一回館合協議する事となった 市とて近く政府館から行はるべき 日支通商額較改訂交渉に財臨して 右国航交渉をもなす確定である 

暗號電 

してゐるが一

正式會議南台

新り支米公使

六百四十萬圓に

滅資させる意嚮

五品取引所と當局

「本天特電九日電」率天支那側電 第中であるが大體本月内に設計に であるが大體本月内に設計に であるが大體本月内に設計に

・ 八字許可み 建築・機械

自働電話

式輝兩氏か 『東京八日愛電』大連五品取別所 午後指令を發した事は既報の通りは明九日を以って警察期限滿です。であるが有財産監理の限度は當局、一般地議中の處、關東壓では探務省 百四十萬圓に減衰せしむるに内定 その結果左記條件を附して免 してゐると と合議の結果左記條件を附して免 してゐると (東京八日愛電) 大連五品取別所 午後指令を發した事は既報の通り (東京八日愛電) 大連五品取別所 午後指令を發した事は既報の通り (東京八日愛電)

來月初め一週間 治廢の示威運動

以て職選する管であると
以て職選する管であると
以て職選する管であると

◎ 大學豫科

| 試験期日 四月二日

四月二日
四月二日
四月二日
一般間勝水志
「一般間勝次志

泰天英總領事歸朝

有 ては來る十二、三日頃間かれる陸 軍三長官會聽にて 取識改革教大綱 を共に決定されること、なつてあ るが、後低としては武震教育總監 も川前陸和・鈴木孝雕大綱が撃け られてゐるが、鈴木孝雕大綱が撃け

後備役編入に伴ふ後任問題につ

高級南京代表として駐英公使施肇 | 郷民が総加派遣されるだらう 高級南京代表として駐英公使施肇 | 郷側では稱してゐる一行は計

施肇基、

趣能に発手する筈である 商業倉護所あり果して装商業態行する計畫で近く委員會を開いて ある、從來へルピンには日、震力一日より七日までの一週間 ころは外商の共同利益と清別には三月一日より七日までの一週間 ころは外商の共同利益と清別には三月一日より七日までの一週間 ころは外商の共同利益と清別には三月一日より七日までの一週間 ころは外商の共同利益と清別には三月一日まり、第一日にようる 奉天外交協會の計畫 「本天物電八日数」率天英國總領事トワース氏は今回六ヶ月の賜暇 事トワース氏は今回六ヶ月の賜暇

哈市國際商議 領事イースト氏が代理することと 展開東藤野令(七月付) 関東藤寺院 田中 利雄 警官従六位 田中 利雄

農業上の新發見

國境抑留に 注意通告 天警察署動務) 齊霧 直方等天總領事館警察署動務ヲ命ス 警察署長)で野茂作

南部記者結婚 本職調 部經濟記者南部春雄氏は今回本社部経濟記者南部春雄氏は今回本社部経濟記者南部春雄氏は今回本社



「ハルビン特電八日級」露支続等 の解決で補酬里を通過し得ること になつたが歐洲から極東シベリア・ を軽田し東鎌から南浦に出る旅客

満鐵が努農に





0

借覧者は少

八部分は學校の受験勉强

文學書が一番讀まれ

6

部職線異默なし」等で其他山田、親見範輔氏の「母」および「西、親見範輔氏の「母」および「西」とよび「西」を表表しいの。

べれば當地の讀書子は夫れだけ飽

又一 配生活に難して繰り驚利に関な落ちつきがあると云へるが

毎日満員だが

(三)

十五萬の和漢洋歸書を蔵し約百二 全しか無い、一月中に於ける館内 日々蔣武の臨況であるが、接触書 肺、洋書二八六肺で各部門毎に観 館の専庫からみた在幕知識階級の れば左の如きもので百分率に見て 要要が一五・八で最も多く、工 語のはならか!

りて動物するので、日に三百人の は中等歌生で被等は大抵脱だけ借 受験別を控へて入場者の三分の二

之に大い

等である

0

で使用することゝしたる、緊縮 しで使用することゝしたる、緊縮 して使用することゝしたる、緊縮 がある。 の後とて最早これ以上の節約

#### 關東廳 萬圓 今後は出張も十分には出來ぬ 角色 お役人様の痛た事

日本が、政府の駅命致方なく同廊の中間にある。町青年館ホールに於て行はれる全「館主艦本社後機の全灣選手搬大會を作成の下では今回唯一つ腹されたる際鼠の一種長は比砂部振彩の関東脈横線旅水の開東脈横線旅水の間東脈横線旅水の間東脈横線旅水の間東脈横線旅水の間であるとされてるたので、全球内上球大角目の半地は南洋脈と朝鮮との中間にある。町青年館ホールに於て行はれる全「館主艦本社後機の全灣選手搬大會を作業の大手を作り、「原文」とは、「日本の一般であるとされてるたので、「日本の一般では、「日本の一体の一体のでは、「日本の一体の一体のでは、「日本の一体のでは、「日本の一体のでは、「日本の一体のでは、「日本の一体のでは、「日本の一体のでは、「日本の一体のでは、「日本の一体のでは、「日本の一体のでは、「日本の一体のでは、「日本の一体のでは、「日本の一体のでは、「日本の一体のでは、「日本の一体のでは、「日本の、「日本の、「日本の」」」は、「日本の一の「日本の、「日本の一体のでは、「日本の一体のでは、「日本の一の「日本の一体のでは、「日本の、「日本の、「日本の、「日本の、「日本の、「日本の 【浦和八日發電】八日午前五時頭一 東大法學部 助手自殺 鐵道を枕に

程度に減額さる、模様であるのであるが、新規程に依る時は零 

東慶では五年度楽算に於ける事 では五年度楽算に於ける事 では一部部域で、約八萬圓の經費 では過数来この部域を では過数来この部域を では既に磁の四年 では既に磁の四年

中央放送局 復興祭と

びメンバー左の如くである 担合せ ▲第一回大浦満鶴用 度對大連埠頭▲第二回全撫順對 大連電氣▲第三回輸出對大連山 本運動具店 常日朝發表の筈である、組合せ及左の如く決定した、倘試合規定は 模様をも放送鹵簿御通過の



一次するが、三月二十三日天皇陛下 るよので、市内行幸啓敷を所にするの機様を全國に中郷放送する作機する外各種儲し物を中郷放品(合本税)ので、市内行幸啓敷を所に歩行される高都復興祭富日を的に歩行される高都復興祭富日を的に歩行される高都復興祭富日を的に歩行される高都復興祭富日を前に歩行される高都復興祭富日を前に歩行される高都復興祭富日を前に歩行される高都復興祭富日をおいて、市内行幸啓敷を所にするの機様を全國に中郷放送する。

脂、牛筋は合計して八個八十七となる、腰物ともなる可さ牛骨

七銭を差別いた純肉三十

## 肉店舗を中心に

市役所と市場が睨合い

借受人に市場組合が引渡さぬ

成行き注目さる

春待ち顔の

中二、三直位なものが一番愛れる 其他安物の一様四層五十銭の緊
離とも謂ふのがあるが可成り出る で、可笑しい事には上物は早 はで、可笑しい事には上物は早 はで、可笑しい事には上物は早

お雛さま

今年は値段が安い

の紐を解いて安物で間に合はすら にせがまれて止むを得ず緊縮財布 にせがまれて止むを得ず緊縮財布

變り物もいろり

利益の減少を

驚くべき暴利振り

製棚古を翻載してるたが、八日総一覧部に於ては去る十七日より

最近よく讚まれる書籍名を挙げれ が四季變らず讃まれるのは低利養なだらう 特に輸入早水のハシリものとでも
れて積上げられてある。内地に於

「本天特代九日愛」九日零行された全案天スケート大館女子五百米 次レースに於て井上浩子嬢は一分 次レースに於て井上浩子嬢は一分 で配谷みどり嬢の保持する

登画版に撰稿と開記と開いては同窓館主催の下に十一日午前十一時三十分より同校講覧に於て 祝弥默並びに金斌を贈呈、同會終 で後は新鶴教職戲七十餘名を電戲

市側では飽迄 断行する決心

はない、店舗として模様換するの間何等の移しい點はない、現場内に適當の場所がある、心配を居住してゐる番人の居所は市市居住してゐる番人の居所は市市のでそ

井上浩子孃が

奉天スケート大會で 女子五百メートルに

表彰をすることしなった 者十六名。成績優良者其他に動し 創立補十周年を迎へた大連語學校 創立十周年祝賀會

市民の利益のため

日本記錄を作る  本館 大阪西區初中華一川宅地県モくせ毛わけ毛折毛を助ぐ事業 要を思えるつくをも

金牌受領

十分盛前裡に終了明確き同校講覧十分ののは、一大学のであい、一大学のである。一大学のである。一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、 産兒制限

1787

世

界各

着せてさてはけふかに――随分見祭切の キンカールは日本内地でも既に全國的となつたが茲に又女のキンカールは日本内地でも既に全國的となったが茲に又女の世でさてはけぶから創被露に及んだ處をパチリ、處が若い女ででさてはけぶから創被露に及んだ處をパチリ、處が若い女人の選出?の爲めか何うかは知らぬが鬼どルは丸菱臭服店にへの選出?の爲めか何うかは知らぬが鬼どルは丸菱臭服店にたの選出?の爲めか何うかは知らぬが鬼どルは丸菱臭服店にたの選出?の爲めか何でかは知らぬが鬼どいたが茲に又女の神ンカールは日本内地でも既に全國的となつたが茲に又女の神ンカールは日本内地でも既に全國的となつたが茲に又女の神ンカールは日本内地でも既に全國的となったが茲に又女の神ンカールは日本内地でも既に全國的となったが茲に又女の神ンカールは日本内地でも既に全國的となったが茲に又女の神ンカールは日本内地でも既に全國的となったが茲に又女の神ンカールは日本内地でも既に全國的となったが茲に又女の神ンスティールは日本内地でも既に全國的となったが茲に又女の神ンスティールは日本内地でも既に全國的となったが一般が表になった。 事務員の話題となる。

となるのは三十七貫八百匁で之れとなるのは三十七貫八百匁で之れ

教員の卓球試合

々を語ってるた 老頭見連も

日本最初のマネモンボ

銭子名物 名地名産 栗漬

せるおやの干 點 長良川名産 一干じ物 菊島蛇焼切り 水<sup>塩</sup> あ 3 卷 若布 貝蛤鱈。り

月十日メ切 偏に御願い致します 第七四 会会会会会会会 早くてきれいにはる店 宗宗 替三八二つ 盒回 規約書持参致します 但馬町 展服 5

雅人形大賣出し

連の変形を お村田東京堂

新柄 ツクリト

提諾核結●弱装腔神 <u>適</u> 復回加増の力帮、力體 應 ……等弱衰の後病般→ <u>症</u>



イジ頭痛にフ

店 商 松 島 局 薬橋本日

婦人の病は婦人の手で

〇二通部監市連大 代理 四海 信市 連 大 店

キッコ 大連市伊勢町 大連市伊勢町 3

良い醤油は・・・・・・

東京風菓子謹製 國酒類 食 9 00 山通

自犯原因不明 強道自続を整けたに長野商業生徒 の場がは、一般の主義を発するに起居して ないで、一般の主義を発するに、一般の主義を表するに、一般の主義を表するに、一般の主義を表する。 で、実何等他の生徒と異つた所もな

紀元節の奉祀 奉祀

大商騰では九日午前十時より部

安住の地を求めて

なる外ない現状である。 なる外ない現状である。

北満蒙古を踏破して

荒野に彷徨ふ鮮人

夥しい阿片密耕支人

と彼等を搾取する寄生蟲

町の便り

新伝石非長春歌祭器長は本月八日では、一番に変響を含すと

祭異A、B、零中A、B、 则道)地方有志、零天道楊、数

、奉天道場、機關區 、奉天道場、機關區

の 株父宮殿下には来る五月上旬御渡 く自数を遂げやうとは教師も同僚 にあらせられるので長春では六日 と云ふ、同人は死に先立つて五日 を民首脳者が派兵隊に集合して率 期裏然帯宿舎を間たまふ行方不明 管民首脳者が派兵隊に集合して率 期裏然帯宿舎を間たまふ行方不明 を正成で何れも官民有力者を搭続し た事情もなく全くこの死は疑問 ヤマトホテルで田代領事は十一日 に成で何れも官民有力者を搭続し をおれてゐる同人は本年十八歳長 歌ば被鸞を貫く古の死は疑問 とされてゐる同人は本年十八歳長 歌ば被鸞を貫く古の死は疑問 本来・アール・ア・ホテルで田代領事は十一日 した事情もなく全くこの死は疑問 を高紫四年生である なが

奉天武道大會

秩父宮さま奉迎

官民合同の打合せ會

本年一月から二月までの傳染病

参チブスー 柳一、チブス五、猩紅熱二二 柳

平天に移轉の件機関設置の件

までの間に卓上電話器一個價格五|模様である 0

也日午前六時質當地路切附近に於 て機闘車一輛形線したが損害なく 直に別上げ入庫した

上村氏講演會

市民大會で改選

特別職話會を開く事となった 特別職話會を開く事となった を開業を申込みたるに快報せられたる次太平洋 を開業を申込みたるに快報せられたる次太平洋 れ十日午後三時より小壁校に於て が、大平洋 に対するに快報せられた。 原

事項に入らんとすれば野然変しか ち工場艦を後の市況、在住民とし で勝楽等に付感想を述べ同時に続 **遼陽市內在住者中借家** 

東る十一日の紀元節に際し左記時来る十一日の紀元節に際し左記時

紀元節拜賀式

この阿片密納は全くボロい儲けがある、着しも被等の作つた阿片全部の軟硬が密熱者の所得に属するとしたら三陸歩を一年作つただけで膨くも五人家内五、六年は裕にで勝くも五人家内五、六年は裕に 五名は六日午後七時から本間に合合して現在激励を楽たし到底在楽のまで、

祭書長、井上局長、加藤寶整倉長 地方委員、各區長其他官民多數の出土二時來經數額所に至り同於て少憩の後午後二時より百ちに運放があつた、際より直ちに運放があつた、際より直ちに運放があつた、際より直ちに運動の後午後四時二十五分酸のよ十二時來經數額所に至り同於て少憩の後午後四時二十五分酸の見激りを受け北行 

(上) 北満内外蒙古の関々までも約一 北満内外蒙古の関々までも約一 七日午後撫順へ辿り着いた撫順 切しては、地方を員飛鳥井氏の知友子氏 知力を員飛鳥井氏の知友子氏

海球、世代口、東古塔、穆林地方 あるが此處も彼等の安住の地では なく、その生活状態は南痛以上に では、その生活状態は南痛以上に

では、銀銭の食器が機然として顔: でマリリスが甘い店ひをして吹き いまないないないないないでは、 宝の中央に黒い大きな食味が二 十二種ばかりの日本間だった。 堂は鮮かな線の植込に面した堂へお伴しませら」 **悪好に売ちてゐる家に似** 

端日后 滿日畑

時上船級つたテープへ映画を 一般上記録のたデープへ映画を が河口 一 が河口 一 が河口 一 が河口 一 が河口 一 が河口 一 を的へあてた得意の胸を張り を取り を取り



東洋映畵說明講習《

映書說明耀募集 與古本唯一映畫說明者養成所!!

料でお教へ致します。療養狂 特殊業と

のだといふ世評を思ひ浮べた。 藤田はこの夫人の生家は犬野と 一のグラスに血のやうなポートワイ 藤田は、いつもこの娘に迷ふたび藤田は、いつもこの娘に迷ふたび

性ちと張合のある

改暦宴 本溪湖 夫人はすこしも版手なところは なかつたが、右手の中指に大きな

の 放新議州電報舎記事務足立城生氏 皮の 新催は七日午後四時候時町西本 新電はじめ關係會社の人々安義 网 新電はじめ關係會社の人々安義 网 都者あり脳る監督であつた

旭山會琵琶溫習會

会議に出ている。 会議では、 会議では、 会議では、 会議では、 会議では、 会議では、 会議では、 の関係のでは、 のでは、 ので 織仏樂部に於て特置過習會を閉礁地山會にては十日午後六時より滿 

案天装では爆発網珠に凝紅熱の縦 長會議を開き実問題に闘する打合を大きては爆発網珠に凝紅熱の縦 せをなすと 日迄微病的によることになった、一般市 (直部では十一日午前十時から締織 に防止することになった、一般市 (直部では十一日午前十時から締織 た)、鬼者に近寄らぬ事をして風者 近く率大で開かれる東北省軍事會 で、鬼者に近寄らぬ事をして風者 近く率大で開かれる東北省軍事會 では、東者に近寄らぬ事をして風者 近く率大で開かれる東北省軍事會 たけいすること

定であると

瓦房

三十三種ありて同四時頃間舎の豫 側の響にて先づ君が代の合唱:神 他の響にて先づ君が代の合唱:神 を長の閉舎の辭次で生徒の響演 の語との別舎の辭次で生徒の響演

近松會初淨瑠璃會

本 近く率火で開かれる東北省軍事會 東北陸軍第二旅長は續々着率しつ 東北陸軍第二旅長丁喜春、第四旅 長劉一張、第十二旅長張廷樞、第 十九旅長孫續築、第十五旅長張廷樞、第 十九旅長孫續、第十五旅長張廷福、第

戸口調査を行ふ

八日から十三日まで

性紅熱豫防の

▲寺内守備隊司令官 八日開原へ ▲校井第十六師團長 八日來率 ▲校井大連鐵演事務所營業長 八 日朝撫順へ 日朝撫順へ 本安藤奉天高女校長 八日期大連 より國奉

本が一大学では、 本が長の開館の発達に係る思想等等 大学後大学学から公會堂に於て開催 を後大学学から公會堂に於て開催 では、 本が長の開館の辞述松、古川、 では、 本が長の開館の辞述松、古川、 では、 本が長の開館の辞述松、古川、

緊縮宣傳映畵

に大日出發

實行委員會

委員拾餘名辭任

遼

書記補登用試験
書記補登用試験
に相の登用純緻は来る二十二日より二日間に重り各地一郷に執行する由の發展試験は来る二十二日より二日間に重り各地一郷に執行する由の緩離局域中より志願者書記二名書記補六名あり同日開原公會
「野中・主任の茶博

常地域内電信所主任野中義職氏は 今回長拳郵便局日本概通出張所長 に榮頼八日午後十一時級列車にて 起任したが後任には大連局より懸 村書記補が任命されたと

殖田局長

製鐵所視察 大人はしとやかな微笑で言った ソを注いだった人はしとやかな微笑で言った ソを注いだったが、ボルド であちら ないが、ボルド 「家はね、すつかり寄生流儀なん

ではんの手物理しかお客さまにも ではんの手物理しかお客さまにも が、およびしても何もないでせう しかし、腹の被つた時数だ――さ で、新

から、その臓を食べて下さい」から、その臓とし、今後氏は淡青い鹿草の縁にを歌いた肌を示すやらにしてですの臓はグーゼール脅血のです

をおけまった。 から、その臓を食べて下さい」から、その臓を食べて下さい」 榮轉に張板荷箱の甍

明張りの月へ失機拉きに来る 開張りを親方地圖のやうに決め 強さた案山子は弓な張つたまゝ 強いで親方地圖のやうに決め

張り切つた心で守る友の通安。

なり

野師園科等総次師など、同じく解 取入を得らる男女を開はず本整職 治療士は帝國領土内は自由に開発 が規則書質線被告等無代進呈す 東京牛込通寺町十二 東京牛込一本 東京牛 私のなほった 東京電氣療法研究所 一希望者はハガキで中

在事の勝いるの世の中は安全職を持つことが 私有利新職

質め川張せ 日本人中の第一人者を全部網羅し小陳生の外その道については在住

十時までの間は個事能に於て無質 一式あり同十時代には小麼校の乗費 市民の奉報館夜六時代は小麼校の乗費 に於て数化應の主催にて間流ある

の意列と豪拝を静き塞り歌神崇神の念を 同土國民精神の作興動使力行國力 標準の構制を涵蓋すべく一所多数

変した 変した

牧野主事出張

寺內守備隊司令官

九戸全焼す 宿屋から發火

七日午後十時五十五分大山坑停留 所下新市復に通ずる道路に確する が盛に減られ見る見る内に九般を なめつくし三時間延熄の後八日〇 が過い大山坑は宅消火線を開門 が越火、急額と共に無暇門 が成火、急額と共に無暇門 が成火、急額と共に無暇門 があった。

豆粕取引活況

の際に 朧を総た。 綾子が坐つた時 大人は見人と並び、綾子は 藤田

張りつめた胸の

事識ちと長く主張へ即 張順 十 無順 十

心ふこと

**仏張へ妻に話せぬ瞬々仏張といふへ女の連れ**  ない。 な一一紹介しやう、藤田君これが 要です。それからこの方がいつも ないまでする説三君だ」 と、今波氏は氣軽くその女の方あゝ、学既の知らせかれ?」 玉蟲色の唇(三)

なせて、いまっしし、ひどく濃いなせ、いませて、いまっしたばかりらしく。ひどく濃いなせて、ほんのりと解紅を信 たが――襟や腕の腰のあたりを、 く見える程証を塗ってるた。

張り渡すテーブに別離の涙のせ が河口 紅 箍 が河口 紅 箍 が河口 紅 箍 大連 骨 & 庵 かのより 大連 骨 & 庵

とこう 大連 まき子

吉